

# かわにし

つくぞ!  
復興もち

人口の動き

—12月1日現在—

男	3,967 (-3)
女	4,024 (-12)
計	7,991 (-15)
世帯数	2,275 (-7)

( ) は前月比較

特集 震度6を超えて(2) ...2  
真剣に考えよう合併について...32  
最後の体育祭...38



新潟県

特集

## 震度6を越えて(2)

### ～被災から復興へ～

かつて経験のない巨大地震に見舞われて、間もなく二か月になろうとしています。

初期の混乱状態から落ち着きを取り戻し、少しずつですがもとのまち、もとの生活へと戻る取り組みが始まっています。

一方では、日が経つに連れ、被害の深刻さが浮き彫りになってきていることもあります。

少し振り返り、そしてこれからを視野に入れながら、この大震災を見つめてみました。



舗装復旧中



初期の物資の仕分け作業は、  
休む間もないほどでした



物資の配給は、囑託員さんの  
力に頼りました

# 何ができて何が できなかつたのか

## 最高責任者に聞く

震度七（川西町では震度六弱二回）を含む群発地震が、約二か月で八〇〇回以上も続いた新潟県中越大地震は、かつて誰も経験したことがない未曾有の大災害となりました。

あらゆる場所での道路の決壊、停電、上下水道の寸断、住宅の損壊、けが、携帯電話など情報手段の混乱、物資配給、車中避難、避難所生活、ストレス、不眠不休の対応、復旧工事、ボランティア、全国から寄せられた有形無形の支援、復興への新たな取り組み…。(詳しい被災内容等については、本紙No五五五十一月二十日号及び本号22



(25ページをご覧ください)

住民一人ひとりとはもとより、「川西町」としても、すべてが初めての体験でした。初期の対策本部の立ち上げからその後の対応まで、さまざまな場面で決断を迫られ、そして実行していく毎日が続いています。その最高責任者が、災害対策本部長である田口直人町長です。

田口町長に、これまでの中で対応がうまくいったことや反省すべき点、これから取り組むことなどをうかがいました。

——まず、地震発生からこれまでのなかで、対応がうまくいったこと、ありがたかったことは？

### 各集落の役員に感謝

ありがたかったということを含めて、まず第一番にあげたいのは、町政事務囑託員をはじめ各集落の役員のみなさんが、町内(集落)をいち早く掌握され、地域をまとめて避難実態の把握や安全確保を自主的に行ってくださったことです。

これがなかったら、住民のみなさんへの情報伝達や被災対策、物資の配給など、初期の対応はもっと混乱していたでしょう。

全町民のみなさんか、パニックや大きな混乱もなく、不自由

### おこわり

十月二十三日に発生した新潟県中越大地震対応のため、今月は「お知らせ版」を一日と十日に、「広報かわにし」を二十日に発行することとしました。

また、十一月二十日号は地震情報に特化し、その他の記事を一切掲載しなかったことから、震災以前の催しなども含め、今月号に改めて掲載します。ご了承をお願いいたします。

### 「新潟県中越大地震」の呼称について

新潟県では、気象庁が命名した「平成十六年(二〇〇四年)新潟県中越地震」に代わって、十一月二十九日から「新潟県中越大地震」の呼称を使用しています。

理由は、この地震は避難者約十万人、住宅損壊約九万棟、被害額三兆円を超える大規模災害であり、その影響は「阪神・淡路大震災」にも匹敵することを、県内外に理解していただくためです。

川西町でもこれにならない、十一月三十日からこの名称を使用しています。

災害対策本部長も  
消防服で各避難所  
をまわりました  
(小白倉)



消防団は、幅広い分野で活躍しました(土のう作り)

2m以上段差が  
ついた農道



隣近所で集まって  
夜を過ごすところ  
も多くありました  
(上野)

## 言い尽くせないほどの 援助

な生活に耐えてくださったこと  
も特筆に値します。隣近所同士  
の助け合いも大きかった。日頃  
の地域の結びつき、近所どうし  
のつきあいの成果が表れたんだ  
と思います。

つくづく、いい町だと思いま  
した。

また、消防団のみなさんも出  
動要請に対して迅速に対応して  
いただきました。延べ一、〇〇  
〇人を超える出動で応急復旧に  
ご尽力いただき、こんなに力強  
く感じたことはありませんでし  
た。上下水道や道路の復旧でも、  
業者のみなさんの不眠不休の活  
躍があったからこそ、早期の復  
旧ができました。

それから、近隣市町村や県、  
災害時相互支援協定を結んでい  
る全国川西の市町をはじめ、全  
国各地から物心両面にわたって  
心温まるご支援をいただきました。  
特に、世帯訪問や診療など  
保健・医療の分野や、被災住宅  
の被害認定など、長期にわたる  
専門的な活動は、こうしたご支  
援なしには不可能でした。

個人的なボランティア活動な  
ど、日常の細かなところまでい  
ろいろ助けていただきました

が、とてもここでは言い尽くせ  
ません。この場を借りて、心か  
ら御礼を申し上げます。本当に  
ありがとうございました。

— 町としての対応では？

## よく働いた無線と職員

防災無線が、地震の翌日未明  
から機能したことが大きかった  
ですね。スピーカーが大きき響  
くため、聞き取りにくいという  
欠点もありましたが、救援物資  
の発給時間など、緊急に全町に  
知らせなくてはならないことを  
伝えるのには、十分働いてくれ  
たと思います。

ただ、停電だと機能しないと  
いう問題点も残りました。補助  
電源が足りなかったからです。

職員の対応も素早かったと思  
います。多くの職員が自宅の被  
害も顧みず、初震後すぐに真っ  
暗な中を役場に駆けつけてくれ  
ました。

そして、すぐに対策本部を機  
能させ、役割分担をして対応に  
当たってくれました。その結果、  
全町のおおまかな被害状況は、  
その日の夜のうちに、ほぼ把握  
することができました。

その後も、昼夜を問わず、復  
旧にまい進してくれました。初  
めてのことばかりで後手にまわ

ることもありましたが、力を合  
わせて献身的に対応してくれた  
と思います。

こういうときに頼りになるの  
は、誰でもない職員だというこ  
とを改めて感じました。

— 逆に困ったこと、反省すべ  
き点は？

## 痛恨の極み

いっぱいありますが、指定避  
難所である小中学校の体育館の  
照明灯や天井材が落下して危険  
なため、避難所として開放でき  
なかったことが一番残念なこと  
です。結果として、車中泊を余  
儀なくされた方々が多く、その  
ことが原因と見られるエコノミ  
ークラス症候群で、一人の女性  
が命を落とされたことは、痛恨  
の極みです。

風水害や雪害と地震では、準  
備するものも対応も、大きく違  
ってくるのがこの地震ではつ  
きり分かりました。

日頃備えておかなければなら  
ない物資や備品、停電や断水に  
対する備え、地震に強い施設の  
整備や組織体制の構築、情報伝  
達の手段など、あらゆる分野で  
反省すべき点が多々あります。  
今、いろんな現場でそういうと  
ころを洗い出しているところ

がんばろう



す。今後、それらをよく調べて、早く対応策を講じたいと思います。

——町として、これからやるべきことは？

### できるだけだけの支援を

まず、安全な避難場所の確保と、がけ地などの安全対策工事が必要になると思います。

それから、これから冬を迎えるわけですが、損害を受けた道路の復旧を進めて除雪路線を確保し、孤立集落が出ないようにしなければならぬと思います。今、急ピッチで工事が進められています。

住宅の被害を受けた方やお年

## 住宅の形態と地震の影響 若手建築士はこう見る

### 雪国の頑丈な家が幸い

今回の大震災で、川西町では震度6弱二回を含む震度3以上の地震に三〇回以上見舞われています。

全壊家屋五棟、大規模半壊六棟、半壊五九棟、一部損壊七五九棟(十二月十日現在)と、多くの住宅が被害を受けました。調査が進めば、さらにその数は

寄り、障害を持つ人など、いわゆる災害弱者のみなさんに対する支援策や心のケアも重要です。これも、特別チームで取り組んでいます。

あと、震災によって職を失ってしまった方への対応も必要になってくるでしょう。

水の問題では農業、特に稲作への影響が心配です。川西町は山が浅いため、五つのダムでかんがい用水を確保しているわけですが、このダムに被害が及んでしまいました。特に、メインの川西ダムの貯水ができない

と、来春の作付にも影響が出る可能性があります。補償用水など、いろいろな角度から対策を講じて、なんとか水の確保をしたいと思っています。

また、山間部の農道や農地の復旧も重要です。地震の被害がきっかけで農業をあきらめてしまったたり、耕作放棄地が出ないように、できるだけの支援をしたいと思っています。

——最後に、町民のみなさんへメッセージをお願いします。

全町民のみなさん！  
これまでほんとうに頑張っていたいただきありがとうございます。みなさんのおかげで、ひとまず大きな山を乗り越えることができました。

まだまだ心配ごとや後遺症はたくさん残っていますが、復興への気力が一番大事です。雪の季節を迎えますが、培った地域力で「人が元気、まちが元気、自然が元気」の希望に向かって歩き出しましょう。  
健康には、くれぐれもご注意ください。

増えると思いますが、幸いにも、倒壊や火災の発生、そのことが原因の死者はありませんでした。

この要因としては、雪国特有の頑丈な家の構造が大きく作用しているといわれています。そのほか、住宅の種別や建築年代によっても、ある程度被害の特徴が表れているようです。

そのあたりを、町内外で活躍する若手建築士のみなさん



建築の面から震災を振り返る  
右から小川さん、野沢さん、井川さん



子どもたちは、避難生活でも楽しみを見つけていました

かがいました。

お話をうかがったのは、小川新一さん（44・中里村）、野沢浩平さん（43・野口）、井川明弘さん（41・新町新田）の三人の一級建築士のみなさんです。

——今回の地震では、ほとんどの住宅で何らかの被害が出ていますが、被害の特徴はあるのでしょうか。

## 筋交いが分岐点

年代別に見ていくと、当然のことかもしれないませんが、大まかに古い住宅ほど被害が大きいといえます。

これは、建築基準法、消防法に定められた強度などの基準が、時代が進むほど強化されたことと密接に結びついています。たとえば、日本古来からの在来工法には、水平力を支える筋交い（すじかい）柱間に入れる斜めの部材」というものがあり、柱と柱の間に通し貫（ぬき）を入れ、その間に壁（土壁）を付けて間仕切りをしているわけですが、これだと、横揺れをすべて壁が受け止めることになってしまいます。

巨大地震や風水害のたびに基準が厳しくなって、だんだん丈夫な家が造られるようになりま

した。

最新の建築基準に基づく住宅は、基礎も壁などの構造も格段に強度が高くなっていますから、壊れも少なかったようです。

——なるほど、それで古い住宅のほとんどで壁の被害があったわけですね。

## 古い住宅の免震構造？

ところが、古ければ古いほど被害が大きいかというとそうでもなく、昭和三〇年代以前の住宅は、昭和四〇年代、五〇年代前半のものよりも比較的被害が少ないという傾向もあります。

これは、昭和四〇年代のいわゆる高度成長期の住宅は、簡単なコンクリート基礎に部材を乗せ、石膏ボードやアルミサッシ、カラートタンで覆ったために内部結露しやすく、柱の仕口やボードそのものが弱っていたことなどが原因と考えられます。

一方、思いっきり古い住宅は、部材が太く、金物を使っていないため仕口の強度もそれほど落ちていなかったようです。礎石の上に単に乗っかっている構造も、一種の免震効果となったのでしょうか。

しかし、これらはあくまでも一般的傾向で、地盤や間取り、施

工方法や使用状況によっても違いがありますので、個々のものすべてにあてはまるわけではありません。

——住宅の種類によっても被害に差があったでしょうか？

## アンカーボルトに注意

最近普及し始めた鉄骨耐雪住宅や、壁そのものを構造材にしている二×四（ツーバイフォー）、パネル構造の住宅は被害があったという話をあまり聞きません。構造そのものが頑丈なためでしょう。

一階部分を鉄筋コンクリート

の高い基礎で固めた、雪国特有のいわゆる高床式住宅も被害が少ないようです。ただし、一階の天井部分も鉄筋コンクリートでおおったスラブ構造のものは今言ったとおりですが、天井部分が開口していて、H鋼（鉄骨）などの梁を渡してその上に木造部を乗せている構造のものは、かなりの被害があったようです。

これらは、鉄骨とコンクリートをつないでいるアンカーボルトが折れたり、浮き上がってしまっている事例が多く見られます。ボードや外壁などでおおわれていて、一見何ともないように見えても、一皮むいてみると

大きな損傷を受けていることがありますから、注意が必要です。鉄骨構造の住宅でも、床との連結部分のボルトが浮き上がっている場合があります。コンクリートの中に入っているものだけにやっかいです。注意深く点検する必要がありますので、ご心配の方は、施工者や専門家に相談していただきたいと思います。

あと、瓦屋根はほとんどの住宅がやられています。これは、重い瓦の特性上やむを得ないですね。近隣に施工するところが少ないので大変ですが、応急修理だけでも早めしておく必要があるでしょう。



一階部分の構造の違いで被害に差が出た高床式住宅



ほとんど被害のなかった2×4構造の住宅



高床式住宅の屋根裏。斜めの部材がクモスジ

——これから、本格的な雪の季節に向かうわけですが、どんなことに注意したらいいのでしょうか？

### 屋根裏ものごころ

そうですね、地震発生が雪の季節でなくて良かったと思えます。

これが、屋根にたくさん雪が積もっているときだったら、倒壊家屋が続出して被害は甚大だったでしょう。

今回の地震は余震が長く続いたので、外観上は何ともなくても、構造材の仕口がかなり弱っ

ていると考えられます。

木の場合は縫い付けボルト、H鋼の場合は止め付けボルトのしまり具合を確認して、必要に応じて補修・補強しておく必要があるでしょう。

外壁を止めてあるビスや釘も浮いている場合が多いので、冬の強風で飛ばされないよう、今のうちに打ち込んでおいた方がいいと思います。

それから、木造住宅で屋根裏に入るができる場合は、小屋裏を点検してください。羽子板やカスガイといった止め具や、クモスジ（雲筋交い）などが外れている場合がけっこうあ

ります。一番高いところが一番揺れるわけですから、ダメージも受けやすいのです。

### こまめに雪掘り

屋根の補修が間に合わず、シートをかけておく場合は、一部分だけにかけるのではなく、必ず全体をおおってください。一部分だけだとシートの無いところだけに雪が積もって加重が偏ってしまい、とても危険です。すべて屋根にも上がれないので、これはしないでください。

融雪や耐雪、落雪屋根以外の場合、雪が降ったら、とにかくこまめに雪掘り（雪下ろし）をすることが大事です。これに尽きますね。

雪への対策をおおまかに言えば、「補強する」と「加重を減らす」の二点です。

そのほかのことも含めて、住宅の雪への対応をまとめてみると、おおむね次のようなことがポイントになります。

- ① 部材の取付部分を点検する
- ② 外壁の釘を打ち込む
- ③ 屋根裏を点検する
- ④ 必要に応じて補強する
- ⑤ シートの部分がけはしない
- ⑥ こまめに雪掘りをする

⑦ 夜の作業はしない  
⑧ 隣近所声かけしながら作業する

例年、二メートルから三メートルの雪が降る当地域にとつて、これから数か月が、地震後の次の山です。

高齢世帯にとつて雪掘りは深刻な問題です。隣近所で助け合うことも大事になってきます。

要援護世帯の雪掘りは、県内初の除雪ボランティア「夢雪隊」（上村保弘代表）が担っていますが、対象が増えると人数確保が新たな課題になります。夢雪隊では新しい隊員を募集しています。（26ページ参照）

でも、雪に対して私たちは経験があります。その経験と今までの以上の地域の結びつきをフル動員して、新しい春を迎えましょう。



大勢で一気に雪掘りをする夢雪隊の活動



折れたアンカーボルト



鉄骨とコンクリートのつなぎ目のあたりをチェックしましょう



鉄骨の取付部分



浮き上がった鉄骨柱の取付ボルト

# あのときを振り返る

## 私の体験

先月号で地震の体験を募集したところ、町民のみならず県内外の多くの方々から、体験談や励ましのメッセージなどをいただきました。

町で拾った声や、小中学生の感想などと合わせてご紹介します。つらい思い出もありますが、現実を受け止めて、新しい一歩を踏み出しましょう。(敬称略)



地震直後の事務室



一夜明けると、道路の決壊は町内全域で発生していました

## 地震体験投稿

娘に覆いかぶさって…

「ただいま。夕食の買い物してきたよ」「お帰りなさい。寒かったでしょう」そんな日常会話の途中に、「その瞬間」が襲ってきました。中越大地震です。私は近くにいた娘に覆いかぶさっていました。激しい揺れの中で電気が消え、キョトンと驚いた娘の顔も見えなくなり、地鳴りと何かが壊れる音だけが聞こえていました。

「今だ。早く外に逃げろ」主人の声で我に返り、暗く散乱した家の中から外に脱出。しかし、そこにあつたのも、我が目を疑う光景でした。崩れた鳥居、ヒビ割れた道路、車の上には鉄パイプが倒れていました。そしてまた大きな余震が…。

車の中で眠れない夜が明けると、昨日の光景は地震被害のごく一部でしかない事が分かってきました。自然の猛威をみせつけられた恐ろしい体験でした。

須藤 まどか (31・下原)

## 「災害は突然出される応用問題」

読売新聞に載っていた言葉が

目に止まった。まさにそのとおりだった。日頃の訓練マニュアルどおりに災害はやって来てくれない。

悪夢の十月二十三日午後五時五十六分、休日ではあったが、たまたま施設の事務室にいて電話をしていたときであった。突然の激しい揺れとともに電気は消え、火報受信盤からけたたしい警報音が鳴り響いた。揺れが収まるのを待って警報音を止め、放送で職員に指示を出そうとしたが停電のため使えない。

自家発電による非常照明のおかげで館内は明るく、行動は可能。居残っていた職員に2階入所者の安否の確認を依頼した。夕食直後のためほとんどの入所者が食堂に集まっていた、職員も含め全員無事との報告に安堵する間もなく次から次へ襲ってくる余震。外に避難するより建物の中にいた方が安全と判断。

職員を非常召集したくても電話がつかない。自主的に駆け付けてくれた職員ともども医療器具用の発電機の手配、自家発電用燃料の調達、3日間に及んだ断水期間中の飲料水の運搬等々、緊急避難の入所者の受け入れ対応も含め、マニュアルにはない行動が求められた。

落ち着いたら、今回の経験を基に新たなマニュアル作りに着



火を囲んで語り明かしました  
(撮影：上村晴夫さん／上野)



あたたかいものを食べると  
力が出ます

手しようと思う。それが役立つ  
ことのないことを祈りつつ……

星名 隆之

(霜条・51／あかね園勤務)

### 普通の生活がいかに幸せか

私は来日して四年以上になります。この間、地震は何度となく経験しましたが、いつも小さいものでほとんど影響はありませんでしたので、地震そのものがたいして気になるものではありませんでした。

しかし、十月二十三日の新潟での地震はその考えを一変させました。

私はそのとき、川西町の親友と福島県にいました。私たちはゆれを感じましたが、いつものとおりにしたくないと思っていました。

数分後、友人のご主人からの電話で震源地が川西町に近いことを知りショックを受けました。彼女はいつも明るい顔をしています。彼女が蒼白で厳しい表情になりました。私は彼女の表情を見て、彼女を助けてあげられない自分の力のなさを感じ、本当に悲しくなりました。

福島から川西町まで普通二時間半位ですが、十一時間かけて帰りました。道路のほとんどは通れず、渋滞はひどいものでし

た。私達は終日ラジオを聴きましたが、行方不明者、亡くなった方：耳をふさぎたくなるものばかりでした。彼女は家族や友人の無事をずっと祈っていました。

私も両親や、家族が無事でいるよう祈りました。私たちはいつか、どこかで死を迎えなければなりません。こんな悲惨なことでも死を迎えるなど考えもつきません。日本での生活で経験したことのない、どうしようもない悲しみとなりました。

この経験は忘れられません。私は普通の生活がいかに大切か、幸せの重要性を考えさせられました。そして、この経験はまた、私の友人とその家族の心配や悲しみを共有でき、私たちの関係をより緊密なものとした。

想像を絶するような悲惨なできごとで深く傷ついた皆様が、一日も早く平常に戻れますよう、お祈り申し上げます。

Shaon Aiko Manno

(30・ベネズエラ大使館)  
〈原文英語／押木敦子訳〉

### 町で拾った声

#### 最初は風かと

友だちの家に行こうと車に乗

っていました。踏切で止まったとたん、大きな揺れを感じました。初めは、風であおられたのかと思いましたが、信号の電気が切れたので地震と分かりました。

怖くてしばらく車の中にいましたが、また、突き上げるようなものすごい揺れが来て、あわてて家に帰りました。その後一週間は避難所(川治小学校)で過ごし、会社(株まちづくり川西)にはそこから通いました。

羽鳥裕美子(29・十日町市)

#### みんな割れました

全国川西商工サミットの懇親会で、千手温泉でごつつおを並べているときに、ドカンと来ました。

家へ飛んで帰ったら、バサ(母)が腰抜かしてたんで、たがいて車の中に入れて、店(酒店)の片づけを始めたたら、またものすごい揺れが来て、店の商品はほとんど割れてしまいました。南北向きの棚が特にやられました。

清水 正昭(55・山野田)

#### 手探りで営業

ちょうど、家の前に出ているときにあの揺れが来ました。何



教室にはいつもヘルメットがあります(川西中)



道路復旧作業はフル操業で行なわれました(国道252号)



瓦屋根は、グシ(棟)の部分が破損することが多かったようです(修理する上村さん)

回も猛烈な余震が来て、店(食料品・雑貨)の中は大散乱状態で、足の踏み場もありませんでした。

しばらくすると、みなさんが懐中電灯や乾電池などを買いに来たので、真っ暗な中を手探りで営業していました。パンなどの食料品は無料で配り、喜ばれました。

村越 繁正(55・野口)

### 自宅の屋根は冬仕事

夕飯を始めたらぐらぐらっと来て、外に出ました。近所の一〇軒ほどで三叉路になっている広場に集まって、火をたいて過ごしました。「上野三叉路避難組合」というんだそうです(笑)。

一か月後、みんなが集まって慰労会をしました。

自分に、瓦葺きの技術があるので、次の日から修理依頼の電話がひっきりなしにきました。

柏崎の工場を三軒まわりましたが、どこにもコンクリート瓦の在庫がなく、貯めておいた少しばかりの瓦を持って、近所の屋根の応急修理から始めました。

リュックサックに瓦を入れて屋根に上がり、お茶も昼休みもなく作業しました。若いときの力はもうないので、無理かと思

いました。延べ二週間で三〇軒くらいを一人で修理しました。

人は、「地震で自信がなくなった。」「なんていつてくれます(笑)。」

だども、おかげでくたびれてしまつて、自分の家の屋根は手つかず。冬仕事にゆつくりやるての(笑)。

上村 庄作(69・上野/表紙の写真右上から二番目)

### しめ縄工房が一番安全

ここ(高床式住宅の一階)で、しめ縄を作っていました。ごーぎな揺れで電気が消えたんで、外に出ました。

ちようど、電気炊飯器でまんまを炊いているときだったんで、電気が切れて「めっこ飯」になってしまいました。

それで、ストーブを外に出してみんなでおかゆにして食べました。うんめつけぜの。

中(しめ縄工房)に戻ってみると、みんな散乱して山になっていました。だども、しめ縄の材料には割れるものがないんで、そのまま仕事できてありがたかったの。それより、田んぼの方が被害が大きかった。

ここが一番安全だての。

高橋 信雄

(73・赤谷/表紙の写真左上)

看板を街灯代わりに点灯

店(飲食店)にいるときに、やられました。あとはみなさんと同じです。

夜が怖いという人が結構多かったので、電気が回復してからは、まだ営業を再開してないときも、街灯代わりに看板の灯りをつけていました。

でも、その灯りにつられて店に入ってくるお客さんは、やっぱりいませんでした(笑)。

十一月一日から再開していますが、やはりおいでになるお客さんは少ないですね。

羽鳥時夫(52・上野/表紙の写真左下)

笑顔をやさずに

夕飯の支度をしているときに、下から突き上げるものすごい揺れが襲ってきました。

ガスに鍋をかけていたので、火を消そうとしましたが、ガス台まで行けません。子どもを大声で呼んでいるうちに鍋がひっくり返って火が消えました。揺れが収まってから元栓を締めて外に出ました。そのまま一晩過ごした後は、車の中で寝ていました。

落ち着いて、十一月二十日から仕事に戻りました。接客業

## 特集 震度6を越えて (2)



過ぎてしまえば、結構学びもあったようです



授業も普段の落ちつきを取り戻しました

### 川西中学校生徒の震災体験

学年	氏名	地震に遭ったときの状況と感想
1	茂野 俊	家にいて、すぐに外に出た。車の中で2日過ごしたが、窮屈だった。逃げるためのために、荷物をまとめておこうと思った。
1	高津 達也	家にいたらいきなりすごい揺れが来たので外に逃げた。おー、怖かった。2日間車の中で寝た。荷物はまとめておいた方がいい。
1	山家 恵 羽鳥友紀子 田口 美幸	3人でジャスコで買い物をしていた。ドスンと照明が落ちて、スプリンクラーが水を吹き出した。駐車場に逃げたが生きた心地がしなかった。地球最後の日かと思った。懐中電灯と非常食は必需品だとわかった。
2	田中 寛人	2階の部屋の中にいたが、それほどひどいとは感じなかった。1晩だけ車の中で寝たが、眠れなかった。
2	星名 里香	風呂に入ろうとしていたら下からドカンときた。しばらく壁につかまっていて、収まってから外に出た。怖かった。
3	茂野 愛美	部屋の片づけをしていたらバーンときた。死ぬーっと叫んで逃げた。ほんとに死ぬかと思った。3日間車の中で寝たが、寝心地悪かった。技術の授業で作ったソーラーくん（電池のいらぬラジオ付き懐中電灯）が役に立った。
3	高橋 舞	風呂に入っていたら、ゴーツと音がして激しく揺れ、シャンプーなどが落ちてきた。怖くてばあちゃんにしがみつき、急いで服を着て外に出た。世の中が終わるのかと思った。車の中で寝たけどよく眠れなかった。
3	金子 竜美	2階でテレビを見ようとしていたときに強い横揺れがあった。最初は突風が吹いたのかと思った。急いで外に出て、川西高校の近くで2日間車の中で寝た。高いところに物を置かないようにしている。
3	高橋 征也	トラックが家に突っ込んだのかと思った。何が起きたのか分からないまま、外に出た。2日間車の中で寝た。猫が怖がっていた。

#### 美しい星夜

（松葉荘）なので、余震が来たら避難の誘導を真っ先にやろうといつも考えています。それに、みんなが同じ体験をしているので、少しでも明るい気分になってもらえよう、なるべく笑顔を絶やさないように心がけています。

羽鳥香与（32・小千谷市／表紙の写真右上）

料理店の二階で、中学校の部の反省会に親子で出席していました。ちょうど席に着こうとしたときに一回目が襲ってきました。

二回目に電気が消えたので、外に出ました。料理は手つかずのままでした。お店のおばあちゃんや、子どもたちのお弁当を持ち出してくれたことが、とてもうれしかったです。

携帯電話は二〇回くらいかけ直してやっとながら、主人から迎えに来てもらいました。

避難していた駐車場から見上げた星空が、とってもきれいだっただけを良く覚えています。

片桐 米子（45・栄町）

川西中学校のみなさんから、体験談をうかがいました。（上の表参照）





結崎小学校児童から届いた  
寄せ書き

### 新潟県川西町のみなさまへ

このたびの新潟中越地震において、お見舞い申し上げます。私たち結崎小学校の中で、何人かは新潟県川西町に行った子どもがいます。

そこで、児童会計画委員会が主となり、全校生やPTA教育講演会に募金を呼びかけました。川西町には4つの小学校があると聞いています。義援金をそれぞれの小学校で活用して下さい。

そちらでは、雪もちらついている様子を、テレビで見ました。おからだを大切にして下さい。そして、一日でもはやい復興を祈っています。

二〇〇四・一一・六

奈良県川西町立結崎小学校  
児童会 計画委員会一同

(結崎小学校のみなさんから、全校児童による寄せ書きと、義援金二万五千円をいただきました)

### こんにちは

ぼくは、埼玉県上尾市の小学六年の岡田 耕です。

ぼくは小さい時からモトクロスをしていて、何回か川西のコースでレースをさせてもらいま

した。

レースのときパドックで、山菜ツミにきたおじいさんとおばあさんにバイクのことをいろいろ聞かれました。そのあと名前も知らないぼくを一生けんめい応援してくれました。そしてレースのあと「楽しかったよ。ありがとう」といつてくれました。

やさしい人達でした。ぼくの大切な思い出です。そんなやさしい人達が今つらい生活をしていると思うとぼくもつらいです。きのうホカロンをお小遣いで買えるだけ買いました。宅急便屋さんにもって行ったら、いつ着くかわからないと言われました。もし川西町へ送る方法があったら教えてください。よろしくお願いします。がんばってください。

(岡田さんは、新潟県災害対策本部にホカロンを送りました)

耕です。ぼくが送らせていただいたホカロンは川西町の皆さんに届いたかはわかりませんが、きっと新潟の人達に届いていると思います。チョットですが役になっていれたいです。そしてみなさんが頑張って、またもとの楽しい生活が出来るようになってほしいと思います。

その時はまた、川西町へぜひ行きたいと思います。そしてモトクロスコースを全開で走ってあの大きな壁ジャンプを飛びたいと思います。そしてまたおじいさん、おばあさんと話したいと思っています。頑張ってください。

岡田 耕

(小六・埼玉県上尾市)



モトクロス大会でジャンプを決める岡田さん

# 自然の不思議な世界

## こう かん 宏観異常現象



10月24日に発生した地震雲と思われる帯状の雲  
(撮影：井川一弘さん／新町新田)

### 宏観異常現象とは

大きな地震のとき、自然界では、日常とは異なる様々な現象が起きることが、昔から知られています。代表的なものとしては、「地震前にはなまずが暴れる」があります。

そのほか、井戸水がにごった、異様な光や雲・虹を見た、動物の異常行動が見られたなど、大きな地震の前後に、観測機器によらないでも、人間の感覚によって感知される現象を、「宏観（こうかん）異常現象」と呼んでいます。

**阪神・淡路大震災では  
千件以上**

過去の事例によると、前兆現象は大地震の一〇〇日ほど前から出始め、一〇日ほど前から急増し、約一日前にピークに達する傾向にあるといわれています。また、発生する範囲は地震の規模に比例し、規模が大きくなるほど、範囲も拡大するといわれています。阪神・淡路大震災では、一、二〇〇件を超える前兆現象があったという調査結果もあります。

### 川西町でも多数観察

今回の新潟県中越大地震でも、多くの宏観異常現象がありました。そんなデータをまとめている資料なんてないだろうと思っていたら、あったんですこれが。それも川西町に。

新潟県自然観察指導員で、農林水産省環境相談員でもある南雲敏夫さん（51・中屋敷）が、こまめに情報を収集していました。

南雲さんは、天文から地中・水中の生き物まで、自然界のことならなんでも興味を持って研究し、その成果を発表し続ける、「地域の自然博士」と呼んでふ



地震の一週間ほど前からネズミの動きがあわただしくなっていました(南雲さんのセンサーカメラで撮影)

さわしい存在です。ほかにも(財)日本自然保護協会自然観察指導員、新潟県立自然科学館天文指導員など、さまざまな肩書きを持っています。

### ネズミが大発生

南雲さんは、自宅近くで続けている野生動物の定点観測(46ページ「だんだんどーも」参照)をとおして、おかしいことに気が付いていました。

「動物撮影用のセンサーカメラに、地震の一週間前くらいから頻繁にネズミが写り始めていました。

いつもなら、一晩に一コマくらいなのが六〜七コマくらい写っていたんです。そのときは、どういふことか分かりませんが、したが、あの巨大地震が来て納得しました」。

それから、そのほかの現象も注意深く観察し、「地震の後の二日間くらいは鳥の音がまったく聞こえませんでした。スズメやカラスの声もほとんどなしです。

センサーカメラによる動物たちの撮影を地震発生後五日目くらいから始めましたが、三日間くらいは夜間に一匹も写りませんでした。夜行性動物がまったく行動しなかったものと思われ

ます」と、次々に動物の異常行動の実態が見えてきました。

### イタチも壁にぶつかる

さらに、「二十七日の午前七時半過ぎ、イタチがあわてたように道路を横切り、反対側の家の中に入ろうとして激しくぶつかっていました。おかしいと思っていたら午前十時四十分強い余震(震度6弱)がありました」と、前兆現象と思われることも目撃しています。

動物以外の現象では、「川西町の湧水の出ているところでは、地震後に水量がかなり多くなりました。そのおかげで、水道が復旧していなかった人たちが湧水を汲みに来るにはありがたかったです。今は元通りの水量です」なども確認しています。

その後、南雲さんは各地の友人や知人を訪ねて、宏観異常現象の目撃談を集めています。その一部をご紹介します。(16・17ページ)

それにしても、南雲さんのようなモノズキ(失礼)がいてくれて、ホント助かります。

### 地震雲も

そのほかに、地震雲と思われる

る雲の目撃談も、数多くあります。

新町新田の井川一弘さん(44)は、「十月二十四日の夕方、南の空に帯状の気持ち悪い雲が八本等間隔で並んでいました。これが地震雲だと思い、カメラを持ち出して撮影しました。広角レンズじゃなかったのです、全部写っていないのが残念です」と、14ページの写真を届けてくれました。



小根岸の湧水も水量が増していました

確かに燃えていたのに

その日は、夫とどこへ行くわけでもなく、何を買うわけでもなく、フラフラと出掛けていました。

夕方になり、妻有大橋を渡って川西町へ帰ろうとすると、夫が「なかまの家の方：燃えてねえ？」と言うので見てみると、そこからも充分わかる大きさの炎が真っ赤に燃え上がっていました。なかまの家の職員である私は不安になり、行ってみることにしました。農道幹線に入ると炎は見えなくなりましたが、煙が昇っていたので間違いないと確信し、そのまま現地へ向かいました。

でも、到着すると変わった様子はなく、いつものどおりのなかまの家がそこにありました。別の場所だったのかと思い、辺りを見渡しましたが直前まで見えていた煙も見えなくなっていました。外にいた同僚に話を聞いても何も無いと言うので不思議な思いで帰りま

した。その約一時間後、私たちを恐怖に陥れた大地震がおこりました。

今、振り返るとあれは地震の予兆のようなものではないか、煙に見えたのは地震雲だったのではないかと思えてきます。もしかしたら全く関係のないものかもしれませんが、あまりにも不思議な出来事だったので、投稿してみました。

関口清美（27・みのり団地）

川西町と近隣市町村で確認された宏観異常現象（抜粋）

資料提供：南雲敏夫さん

■地震1か月前からおおよそ前日頃まで

- ・今年の夏頃から畑にモグラが多く出ていた。今まで畑仕事をしていてこんな事はかつてなかった。（十日町市）
- ・地震の二か月前あたりから頻繁にコウモリが家の中に入ってきた。23日夕方地震前にコウモリが壁に激突していた。（津南町）
- ・地震のかなり前から例年になく家に野ネズミがたくさん入って来たが、地震の少し前にはぱたっといなくなった。（津南町）
- ・一週間くらい前、カラスが大群で集まっていた。ものすごい数だった。（十日町市）
- ・数日前からアリが移動していた。（魚沼市小出）
- ・地震の一か月ほど前に、ナマズが昼間に大暴れして水槽が飛び出るほどだった。（長岡市）
- ・養鯉水田に水がたまらないと思ったらモグラらしき穴がいっぱい空いていた。こんな事は過去に例がない。（十日町市）

■地震直前（直前～当日）

- ・地震当日、アスファルトの上にミミズがいっぱい這っていた。（川西町）
- ・飼育しているハムスターが地震の30分くらい前から籠の中で暴れ始めた。（魚沼市小出）
- ・地震当日頃、モグラが大量に土の中から這い出てきた。（テレビ報道）
- ・地震当日、学校のグラウンドにモグラがいっぱい這い出てきた。グラウンドに穴がいっぱい空いていた。（十日町市）
- ・地震前カラス鳴きがたいへん多かった。（十日町市）
- ・地震が起こる少し前に信濃川にいたカラスが一羽もいなくなった。（十日町市）
- ・地震の直前に、近所の飼い猫が突然飛びあがって毛を逆立てて一目散にどこかに走り去った。（十日町市）
- ・地震当日にモグラのものと思われる穴が畑にいっぱいあった。（十日町市）
- ・地震の直前イヌが狂ったように吠え始めた。ネコも狂ったように騒ぎ始めた。（十日町市）
- ・23日午後5時半頃、犬がやけに騒いだ。車で避難していたが犬が騒ぎ始めると必ず揺れた。（松代町）
- ・地震前に大きなミミズが大量に地中から這い出していた。（松代町）
- ・23日午後天井裏でネズミが激しく動いていた。今までこんな事は一度もなかった。地震後全くいなくなった。（十日町市）
- ・なぜかネコが集団で移動を始めた。（十日町市）
- ・23日、古い工場にいた大量のコウモリが一斉にいなくなった。28日以降に少しずつ戻ってきている。（十日町市）

## 特集 震度6を越えて (2)



リスのジャンプシーン



珍しいハクビシンの後姿。これはオス  
なぜわかるかって？ それは…



ハクビシンが慎重に足を運んでいます

異常とか、不思議とかいって  
も、全部自然空間で起きている  
こと。地球規模で見れば、ごく  
普通のことなのかもしれない  
ね。  
ホントに自然は奥深い。

### ■本震以降 (当日～)

- ・地震後ゴミ捨て場にカラスの姿がまったく見られなかった。(十日町市)
- ・地震後ゴミ捨て場などにカラスの姿がまったく見られなかった。(十日町市)
- ・塩沢町や六日町の田んぼに、今まで見たこともないほどのおびただしい数のカラスがいた。(十日町市情報)
- ・地震後うるさいくらいの鳥のさえずりがまったく聞こえなかった。カラスさえ見当たらない。スズメが帰ってきたのは3、4日後だった。(十日町市)
- ・飼っているネコが余震が続いている間は家に戻ってこなかった(魚沼市堀之内)
- ・27日、ナマズが朝から水槽で大暴れしていた。普段物陰に隠れているが、その日は朝からメチャクチャ暴れていてその後強い余震が発生している。
- ・27日朝、車庫に寝ていた方が、庭をモグラがムクムクと動いて行くのを目撃。庭というより畑、草原混じりでそんな所でもモグラが出るんだなとビックリした。その後強い余震が発生している。(長岡市)
- ・23日を境に、パチンコ屋の電線にいたムクドリの大群がいなくなった。(長岡市)
- ・駐車場にたくさんあったクモの巣がなく、クモの姿がまったく見えなくなった。一週間してもクモの姿が見えない。(十日町市)
- ・ネコが少しの揺れでも物置のダンボールに逃げ込み、半日も出てこなかった。友達の飼っているフェレットが何日も姿を表さなかった。(十日町市)
- ・普段見ることが少ないモグラの死骸がお寺付近や田原の農道に転がっているのを見た。(川西町)

### ■動物以外の兆候 (地震前から今まで)

- ・地震が起こる寸前に雷光のような閃光で空が光った。川西町からは北東の方向で雷かと思った。(川西町)
- ・地震のときに、長岡の信濃川の土手から南の地平線に扇形の青い光のようなものが見えた。(長岡市)
- ・地震が起こる前に空が光った (十日町市)
- ・地震の翌日、流雪溝に大量の濁った水が流れていた。今は普通の水量。(十日町市)
- ・井戸を使用している方が地震前に濁りに気がついた。しばらく濁っていたが今は澄んでいる。(十日町市)
- ・地震の直後(23日夜)、側溝に春の雪解けのような大量の水が音をたてて流れていた。現在は例年通りほとんど流れていない。(十日町市)
- ・地震発生後、AMラジオにハウリングのような妙な雑音が入るようになり、しばらくして地震が起きた。(魚沼市小出)
- ・地震発生後、テレビ画面に二本ずつピュッピュッとノイズが入るようになった。(魚沼市小出)
- ・生活用水に利用している湧き水が、地震の一週間前から濁りが出た。過去に経験がなかった。11月22日ころからやっと澄んできた。(川西町)

# 被災から復興へ 物の復興・心の復興



国道 252 号中仙田地内の被害状況（右下）  
と復旧状況（上）



## 道路復旧も進んでいます

震災発生から二か月近くが経ち、大きく被害を受けたところも次第に復旧が進んできています。

ライフラインのうち、上下水道はすでに仮復旧が完了していましたが、道路についても、何か所も決壊して寸断されていた国道二五二号の復旧が完了し、十二月一日から全線が通行可能

となりました。

集落間を結ぶ道路の一部はまだ復旧工事が続いています。町の大動脈となる道路はほぼ復旧が完了したことになります。長い間ご不便をおかけしました。

これから雪のシーズンを迎えるに当たり、除雪作業をスムーズに進めることができるよう、今、除雪路線の舗装工事が急ピッチで進められています。ご協力をお願いします。

## 避難所もなくなりました

町内で唯一残っていた橋避難所も、十二月一日からの応急仮設住宅入居に伴い、十二月二日正午に閉鎖されました。

この避難所では、主に寺ヶ崎集落のみなさんが生活していたわけですが、長い間の避難所生活お疲れさまでした。

いろいろと疲れやストレスがたまっていたと思いますが、これから新しい生活の一步を歩んでいただきたいと思います。

避難所では、不自由な毎日が続いていましたが、主にお年寄りや児童たちのふれあいの機会も、少なからずあったようです。児童の作文でその一端をご紹介します。

## 橘小学校児童の作文

### スイートポテトのプレゼント

一年 村越 玲美

わたしは、十一月八日に、みんなでスイートポテトを作りました。一ねんせいのおうたをサツマイモでつくりました。できあがったスイートポテトを、ランチルームでひなんしている人たちにあげました。「ありがとう」っていつてくれて、うれしかったです。うちのおかあさんも、「おいしい」っていつてくれました。



橋避難所では、子ども対お年寄りの五目並べ決戦がみられました



国道 252 号松葉沢付近被害状況 (左) と復旧状況 (右)



主要地方道小千谷十日町津南線新町新田地内の被害状況 (右) と復旧状況 (左)



仮設住宅に生活用品を運び入れる中島さん

てらがさきの人といっしょ  
にあそんだよ

二年 滋野 莉穂

きょうは、おじいちゃん、おばあちゃんといろいろなあそびをして楽しかったです。一人で新聞を読んでいたおじいちゃんだったので、『わすれられないおくりもの』の本を、わたしとりなさんとちさとさんで読んであげました。そしたら、うなずきながら聞いていてくれて、とてもうれしかったです。元気をあげるつもりが、ぎやくに元気をもらったような気がしました。

ミニコンサート

五年 野沢 健人

十一月二日に、橘小学校のラウンジルームに避難されている寺ヶ崎の人たちのために、ミニコンサートを開きました。ベルとリコーダーと歌を発表しました。えんそうが終わったら、大はくしゅでした。元気をだしてもらえて、うれしかったです。次に、本を読んであげました。読んであげた人は、読むたびにうなずいていました。家に帰って、五時ごろ、寺ヶ崎の人がお礼の電話をくれたので、嬉しかったです。

毎日お風呂のありがたさ  
仮設住宅ができました

応急仮設住宅は、木落地内と美咲町地内に設置され、木落には寺ヶ崎集落八世帯三〇人が、美咲町には六世帯二一人がそれぞれ入居しました。

このうち、十二月一日に美咲町の仮設住宅に入居した中島直光さん(40・新町新田/表紙の写真右下)は、「五人家族なので、3Kは部屋数があって助かります。これまで、ビニールハウス、車庫、集会施設と点々としたので、とりあえず落ち着けるところができて、ありがたいです」と、ほっとした様子でした。

奥さんの真奈美さん(38)も、「何よりも、今日から毎日自由にお風呂に入れるのがうれしいです」と、顔をほころばせていました。

中島さんのお宅は、倒壊こそ免れたものの、被害認定では全壊とされるほどの被害を受けました。

「取り壊し・再建のことを考えると気が重いです。二人の子どもたちも片づけを手伝ってくれるので助かります」、「ほんと、子どもたちから元気をもらっています」と明るく笑いながら、また二人で軽トラックに乗



仮設住内部は、結構な広さがあります



2mの積雪にも耐えられる応急仮設住宅（木落）

って荷物を取りに向かいました。  
引越作業のお忙しい中、お話しをうかがいました。ありがとうございます。

## 復興はもちつきから

### 川中が元氣イベント開催

みんながそれぞれ、何らかの被害を受けながら、少しずつですが復興に向けて歩み始めています。

そんな中、沈みがちな気持ちにはずみをつけようと、震災で吹っ飛んだ催しを、新しい形で復活させる動きも出てきています。

十二月四日、千手小学校を会場に、川西中学校（菊池良秀校長）主催の「合唱発表会・復興記念餅つき」が開催されました。

これは、中学校の体育館などが被害を受けて使えないため、当初予定していた文化祭を合唱発表会に変更し、「地域のみなさんから元氣を出してもらいたい」と、もちつきを加えて、学校とPTAのみなさんが協力して企画・実施したものです。

町内の全小学校にも参加案内をしたことから、合唱発表会のあと行われたもちつきには、生徒も含めて約五〇〇人が参加しました。

先生、保護者、生徒、児童が交代しながらきねを握ってもちをつき、それぞれが雑煮やきな粉、あんこなど、好みの味でつくたてのもちをほおぼっています。



う〜んねばるぞ

した。

もちつきは初めてという川西中三年の相馬隆志さんは、「もちは思ったより弾力があって、きねをまっすぐに打ち込めなかった。難しかった。でも、文化祭はできなかつたけどもちつきを体験できて良かった」と、息を弾ませながら感想を語ってくれました。

企画から実施まで中心的役割を果たした川西中学校の関口芳平教諭（39）は、「みんなで企画して、みんなで実施したのが良かったと思います。保護者のみなさんが中心になって準備を



きねが重たくて...

してくれましたが、地域の力は本当に頼りになりますね」と、意図したことが実現して満足そうでした。

## 物の復興から心の復興へ

### 自然体でいい

道路や施設など物の復興から、人の気持ちを奮い立たせる催しなど心の復興へと、地域は動き始めているようです。うれしいことです。

ところで、何事も気持ち、合いが大事ですが、あまり気合を入れすぎても、手痛いしつ



3年生はおいしい思い出ができました

## 特集 震度6を越えて (2)

住宅被害認定調査では、チームを組んで一軒ずつ見てまわりました



健康相談は、多数の医療奉仕団の支援を受けてきめ細やかに行なわれました

べ返しがある場合があるので、注意が必要です。  
全世帯を訪問して、住民のみなさんの心と体の健康の状態を把握している保健師の一人はこう言います。

「地震のショックで急性ストレス障害になった人も多かったのですが、ここ一か月で順調に回復してきています。ちよつと、早すぎかなと思うこともありま

方々は、異口同音に『雪国の人はがまん強いですね』と言います。いい意味もありますが、がまんのしすぎも良くないということも含んでいます。『落ち込んで当然』くらいに思っ

### 新しいまちづくりへ

いずれにしても、これから長丁場の復興を実践するのは私たち自身です。力を合わせましょ

多くの人が関わって、新しいことに取り組むには、互いの心と心が共鳴して初めて動機付けされ、実行へと動き出すものです。

今回の震災で、多くの人たちが、相手を思いやりながら行動をすることの大切さ、力を合わせることの重要さ、ありがたさを身にしみて分かったことは、新しいまちづくりに必ず生かせることだと思います。

最後に、こんな体験をご紹介して、今回の特集を終えたいと思います。

### 車庫の中の披露宴

今回の地震で感じたこと、それは「人を思いやる心のすばらしさ」です。

実は、私は十一月三日に結婚披露宴を予定していました。妻も私も役場職員のため、当然のことながら結婚式どころではなく、三日当日も朝から災害の対応に追われていました。

その日のわずかな昼休み、職場の先輩が、「たまには、みんな

で昼食を食べよう」と、近くで作業をしていた数人に呼びかけていました。私もその中にいました。役場の車庫内にブルーシートを敷き、カップラーメンなどを用意しました。二〇人ほど集まり、昼食を食べはじめた頃、先輩の声が聞こえてきました。「これから結婚披露宴を始

ます」。初めは何事か分からなかったのですが、名前を呼ばれたときにはもう涙が溢れ出ていました。妻も泣いていました。

先輩が用意してくれたくす玉を二人で一緒に引つ張りました。女性職員のおばあちゃんが作ってくれたブーケを、町長から手渡していただきました。あいさつをするように言われたのですが、涙が止まらず「ありが

とうございました。幸せです」と言うのが精一杯でした。

そこにいた職員のみなさんの顔や服は、汗やホコリにまみれて真っ黒でしたが、とつてもきれいな笑顔でお祝いしてくれました。どんな豪華な会場よりも、どんな豪華な料理よりも心に残る、誰にも真似できない、すばらしい披露宴をプレゼントしてもらいました。

連日の災害対応でヘトヘトに疲れていたにもかかわらず、お祝いしてくれた気持ち、その気持ちがとてもありがたく、胸に響きました。こういう人たちに囲まれて仕事ができること、それはとても幸せなことだと感じました。感謝の気持ちでいっぱい

です。おそらく今回の震災では、同じように多くの方々がそれぞれに助け合い、励ましあい、協力し合い、感謝し合ったのではないのでしょうか。

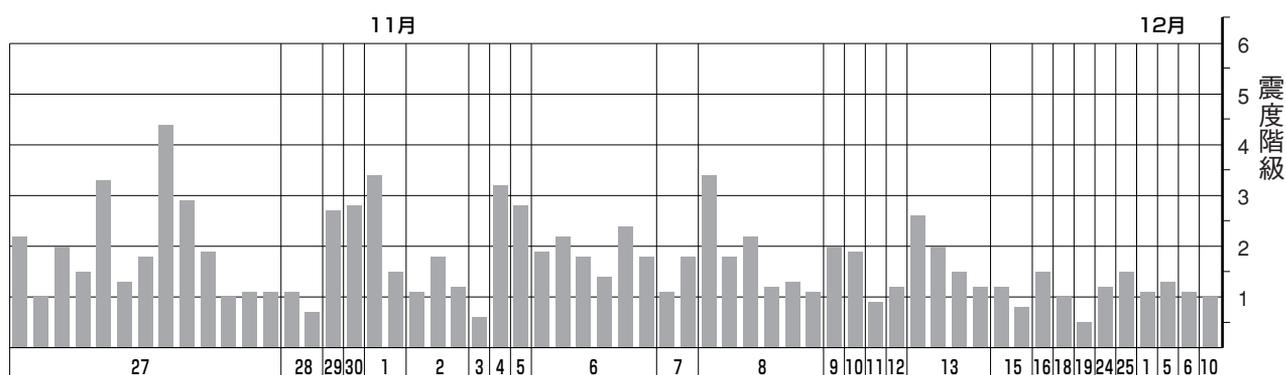
「人を思いやる心」、生きていく上で当然であるはずのこの気持ち

# 新潟県川西町 新潟県中越大震災被害状況総括表

第2次集計：H16.12.10現在

(被害額/単位：千円)

	全 壊		大規模半壊		半 壊		一部損壊		物的被害		合 計		
	棟数	被害額	棟数	被害額	棟数	被害額	棟数	被害額	棟数	被害額	棟数	被害額	
住 家	5	200,000	6	60,000	59	295,000	759	1,518,000			829	2,073,000	
非住家	公共施設	公立保育所						3	3,302			3	3,302
		公民館											
		体育施設				1	53,422	1	12,000		1,300	2	66,722
		観光施設						8	24,980			8	24,980
		役場庁舎						1	62,100		5,875	1	67,975
		町営住宅						11	35,338			11	35,338
		町管理施設						7	8,666		5,099	7	13,765
	消防施設						5	7,000			5	7,000	
	その他	倉庫・車庫	22	66,000	4	8,000	46	46,000	176	88,000		248	208,000
		作業所							200	200,000		200	200,000
		その他(公民館等)							35	70,000		35	70,000
		その他(蔵)							200	200,000		200	200,000
	文教施設	小学校							4	8,532		4	8,532
中学校								1	17,860		1	17,860	
高等学校								1	20,000		1	20,000	
歴史民俗資料館								1	100		300	400	
文化財								1	700,000		1	700,000	
学校給食センター								1	10,160		1	10,160	
寄宿舎								1	300		1	300	
教員住宅								1	500		1	500	
病院	国保診療所							1	4,006		1	4,006	
	医師住宅							1	225		1	225	
社会福祉施設	川西町福祉センター							1	5,608		1	5,608	
	高齢者コミセン							1	700		1	700	
	あかね園							1	805		1	805	
	ファミリー川西							1	872		1	872	
	なかまの家							3	21,040		2,160	3	23,200
	その他社会福祉施設							2	530		150	2	680
農業用施設	有機センター							1	8,000		1,250	1	9,250
	千年の市じろばた							1	100		1	100	
	農業協同組合							4	6,550		4	6,550	
	生産組織					1	19,600	10	22,422	1	7,100	11	49,122
	林産施設							1	3,000		1	3,000	
	養豚施設							2	2,500		2	2,500	
集落センター							2	950		2	950		
計	27	266,000	10	68,000	107	414,022	1,449	3,064,146	1	23,234	1,593	3,835,402	



# 特集 震度6を越えて (2)

(被害額/単位：千円)

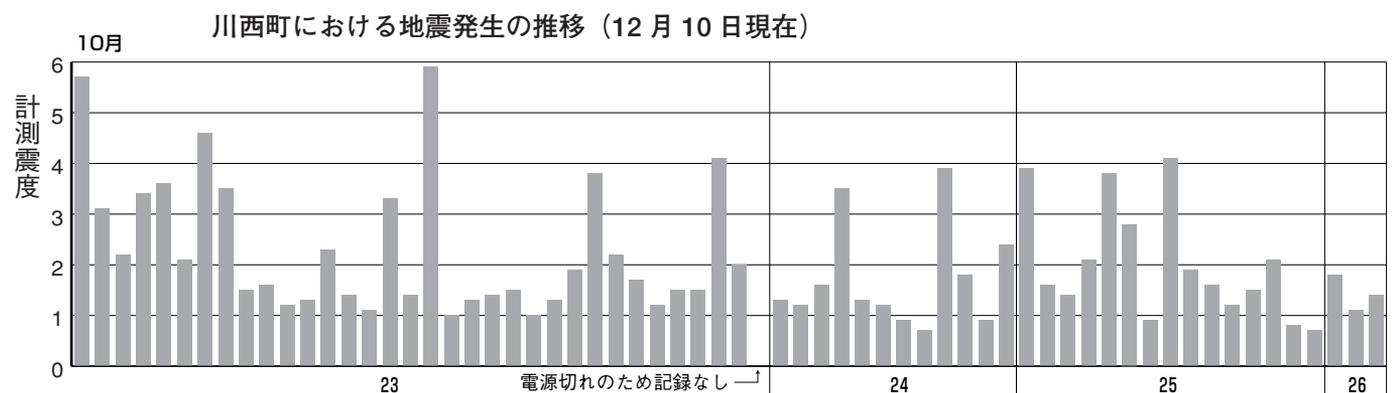


道路が欠落して、中吊りになったガードレール  
(国道 252 号/中仙田)

大震災による川西町の被害額は、現段階で 99 億円あまりにのぼっています。

		箇所・件数	被害額
上水道 (建物以外)		123	64,500
下水道 (建物以外)		11	1,323,060
一般道路		93	1,420,300
農道			
林道		1	8,800
河川		20	191,000
急傾斜地災害		1	20,000
地すべり災害		1	520,000
農業用施設	ダム	5	1,000,000
	ため池	8	120,000
	幹線水路	4	221,000
	揚水機	4	23,000
	頭首工	1	1,000
	農地・農道水路	1	150,000
	農地被害	7	25,000
	農業用施設被害	14	120,000
公共	公園施設	5	3,194
	駐車場・設備	5	7,088
農産被害		131	244,250
水産被害		2	30,000
林産被害		1	90,000
畜産被害		1	120
商工被害		114	499,630
観光被害		6	21,252
ごみ処理		1	2,365
計		560	6,105,559

被害額の計 ①+②	9,940,961 千円
-----------	--------------



# 新潟県中越大震災に関するこれまでの経過

## 1. 発生時刻

平成 16 年 10 月 23 日（土）午後 5 時 56 分 05 秒  
計測震度 5.7 震度階級 6（6弱）最大加速度 824 gal

## 2. 災害対策本部設置

平成 16 年 10 月 23 日（土）午後 6 時 50 分  
災害対策基本法第 23 条に基づく災害対策本部設置  
地震第 3 次配備体制（防災計画）

## 3. 勧告の指示等

（災害対策基本法第 60 条関係）

平成 16 年 10 月 24 日（日）午後 5 時 00 分  
「避難指示」寺ヶ崎地区 8 世帯 28 人  
平成 16 年 10 月 27 日（水）午前 11 時 10 分  
「避難指示」高原田地区 1 世帯 6 人  
平成 16 年 10 月 27 日（水）午後 1 時 30 分  
「避難指示」沖立地区 4 世帯 18 人  
平成 16 年 10 月 30 日（土）午前 8 時 42 分  
「避難指示」中仙田地区 1 世帯 6 人  
平成 16 年 10 月 30 日（土）午後 3 時 30 分  
「避難指示」中仙田地区 5 世帯 13 人  
平成 16 年 11 月 10 日（水）午前 9 時 00 分  
「避難指示」から「避難勧告」切り替え 沖立地区 4 世帯 18 人  
平成 16 年 11 月 13 日（土）午前 9 時 00 分  
「避難指示」から「避難勧告」切り替え 寺ヶ崎地区 8 世帯 28 人  
平成 16 年 11 月 16 日（火）午前 9 時 00 分  
「避難指示」から「避難勧告」切り替え 中仙田地区 1 世帯 6 人  
平成 16 年 11 月 16 日（火）午前 9 時 00 分  
「避難指示」から「避難勧告」切り替え 中仙田地区 5 世帯 13 人  
平成 16 年 11 月 16 日（火）午前 9 時 00 分  
「避難指示」から「避難勧告」切り替え 高原田地区 1 世帯 6 人  
平成 16 年 11 月 25 日（木）午前 9 時 00 分  
「避難勧告」解除 高原田地区 1 世帯 6 人  
平成 16 年 12 月 2 日（木）午前 9 時 00 分  
「避難勧告」解除 沖立地区 4 世帯 18 人

## 4. 避難所指定状況等

平成 16 年 10 月 24 日（日）5 か所指定  
千手小学校、上野小学校、橘小学校、川西中学校、仙田体験交流館  
平成 16 年 11 月 2 日（火）正午  
川西中学校避難所閉鎖  
平成 16 年 11 月 8 日（月）正午  
千手小学校・上野小学校避難所閉鎖  
平成 16 年 11 月 15 日（月）正午  
仙田体験交流館避難所閉鎖  
平成 16 年 12 月 2 日（木）正午  
橘小学校避難所閉鎖

## 5. 自衛隊テント

平成 16 年 10 月 31 日（日）40 張設置  
千手小 5、上野小 10、橘小 15、仙田小 10  
平成 16 年 11 月 8 日（月）仙田小学校 10 張撤去  
平成 16 年 11 月 15 日（月）千手小学校 5 張・上野小学校 10 張撤去  
平成 16 年 12 月 3 日（金）橘小学校 15 張撤去

**避難勧告** 災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、市町村長が「住民に対して立退きをするよう促す」発令。  
**避難指示** 避難勧告よりも緊急性が高く、「住民を立ち退かせる」というように拘束力を持つ。

# 特集 震度6を越えて (2)

## 6. 被災・復旧状況等

(12月14日現在／含推定)

死者	1人
行方不明者	0人
重傷者	7人
軽傷者	17人
火災	0棟
道路被災箇所	200件
河川被災箇所	15件
崖崩れ等	50件
通電状況	100%
上水道復旧状況	100% 2,253世帯
下水道復旧状況	100% 2,253世帯
「避難指示」状況	0世帯 0人
「避難勧告」状況	14世帯 47人
救援物資支給状況	なし

## 7. 避難所避難人数

月 日	千手小	上野小	橘小	キラリ	川中	合計
10月23日～30日(含推定)						2,032人
10月26日～31日	173人	238人	701人	39人	46人	1,197人
11月1日～5日	43人	58人	201人	72人	—	374人
11月6日～12日	—	—	220人	86人	—	306人
11月13日～12月1日	—	—	493人	—	—	493人
計	216人	296人	1,615人	197人	46人	2,370人
合計						4,402人

## 8. 住宅相談窓口状況

開設日：平成16年11月10日から

閉設日：平成16年12月28日まで(予定)

場 所：役場前駐車場プレハブ事務所1階

相談件数(12月14日現在)

地 区	相談件数	総世帯数	相談率
千手地区	62	1,037	6.0%
上野地区	55	438	12.6%
橘地区	53	449	11.8%
仙田地区	37	329	11.2%
合計	207	2,253	9.2%

世帯数は、11月29日現在

## 9. 被害認定実績

(12月9日現在)

区 分	住 家	非住家	合計
全壊	5	22	27
大規模半壊	6	4	10
半壊	59	46	105
一部損壊	759	176	935
計	829	248	1,077

## 10. 応急仮設住宅設置状況(借上仮設・公営住宅を含む)

平成16年11月7日(日)借上仮設・公営住宅入居開始  
平成16年12月1日(水)応急仮設住宅入居開始

## むせつたい 「夢雪隊」隊員募集!

このたびの大震災により、例年に増して不安を感じるのが「屋根の雪掘り」ではないでしょうか。

町の復興に大勢のボランティアが全国から駆けつけてくれましたが、この問題だけは雪の怖さを知っている町民の力で乗り越えなければなりません。スノーボランティア夢雪隊では、新たに隊員を募集しますので、ご協力よろしくお願いたします。

### ■問い合わせ・申し込み

川西町社会福祉協議会  
(担当：関口)

☎ 68-3343 FAX 68-4647

## 相談

### 「雇用支援相談」のお知らせ

ハローワーク十日町では、新潟県中越大地震により被災された事業主の方々や求職者の方々からの雇用・労働相談に無料で応じるため「雇用支援相談」のフリーダイヤルを設置しました。どうぞご利用ください。

■受付日 土・日・祝祭日を除きます。

■受付時間 午前八時三十分～午後五時  
へフリーダイヤル

0120-971-676

## 催し

### 第二十回記念 地震に負けずがんばろう!! 元日卓球大会のご案内

北京チーム超級所属の四元奈生美選手をお招きして、トークショー、サイン会、交流試合を予定しています。

■期日 一月一日(元旦)

■時間 会場 午前八時

〈試合開始〉午前九時

■会場 十日町市総合体育館  
(変更になる場合があります)

■問い合わせ

川西町高原田 渡辺一治郎  
☎ 68-21127

FAX 68-4608

## 冬期「遊びのひろば」 開放中

「冬になると遊ぶ場所がなくなり、どうやってこの冬を乗り切ればいいのか?」そんなお母さんたちの思いから始まった「遊びのひろば」も今年で六年目を迎えます。

大型積み木やブロック、ままごとセットなど遊具もたくさん用意して待っています。

ぜひ、遊びに来てください。



### ■開放日

十二月十日(金)～二十一日(火)、一月五日(水)～三十一日(月)ただし、毎週土・日曜日と一月十日(月)はお休みです。

■時間

午前九時半～十一時半

■会場 上野コミュニティセン  
ター二階

■問い合わせ

子育てネットワーク「ひろば」  
小島 伸子

☎・FAX 68-3593

## 助成・融資

### 雇用調整助成金の特例 措置のご案内

新潟県中越大地震により事業活動の縮小を余儀なくされている当該地域の事業主が行う雇用維持のための努力を支持するため、次のように雇用調整助成金の特例措置を適用することとしました。

### 平成十六年度 大規模災害対策資金 融資のご案内

- ①休業・教育訓練 1/2  
(中小企業 2/3)
- ②出向 1/2  
(中小企業 2/3)
- ※休業手当は賃金の六割以上支給することが必要です。
- 対象期間 平成十六年十一月十九日から平成十七年十一月十八日までの一年間
- 申し込み・問い合わせ 十日町公共職業安定所(ハローワーク) ☎ 57-2407
- 資金使途 運転資金及び設備資金
- 融資限度額 七千万円
- 融資利率 年一・七%
- 融資期間 十年以内(据置二年)以内
- 取扱期限 平成十六年十二月三十日まで
- 信用保証料等の補助 町では右資金融資を受けた中小企業者に対して、信用保証料及び利子の補助を行います。
- 問い合わせ 川西町商工会  
☎ 68-21176  
役場まちづくり推進課  
☎ 68-4952
- 助成率(支給額)

## 税務課からお知らせ

### 住宅・車庫等を 取り壊された方へ

住宅・車庫・作業所等、取り壊しをした家屋がありましたら、税務課固定資産税係に届出をしてください。

なお、届出の際には、印鑑をお持ちください。

#### ■問い合わせ

税務課固定資産税係

☎ 68-4960 (内線 223)

## 衛生施設組合から お知らせ

年末年始は「ごみ収集・資源物回収センターの受付・し尿汲み取り」を休みます。

#### ■業務を休む期間

【ごみ収集・資源物回収センター受付】

・12月31日(金)から1月3日(月)

【し尿汲み取り】

・12月29日(水)から1月3日(月)

#### ■問い合わせ

十日町地域衛生施設組合

☎ 52-3924

## 既往県制度の融資期間延長について

新潟県中越大地震により被災された中小企業者の方は、既往の県制度融資（地方産業育成資金、売掛債権活用資金を除く）の融資期間を、平成十六年十一月四日から平成十六年十二月三十日までの間、最終返済日が平成二十年三月三十一日を越えない範囲で最大二年間の延長がされます。

#### ■問い合わせ

新潟県信用保証協会長岡支店  
☎ 0258-355714

## 国の教育ローンの ご案内

国民生活金融公庫長岡支店では、高校や大学、専修学校、各種学校などの入学や在学中の経済的負担を軽減する目的で「国の教育ローン」のお取り扱いをしています。

「国の教育ローン」は低利のうえ手続きも簡単なことから、これまでに全国で三六〇万人もの方々から利用されてきた制度です。制度の概要は次のとおりです。

#### 【ご利用いただける方】

世帯の年間収入が九九〇万円（事業所得者は七七〇万円）以内の保護者の方

■融資限度額 二〇〇万円（学生・生徒一人あたり）

■金利 年一・七パーセント

（平成十六年十一月十日現在）

■融資期間 十年以内（交通遺児家庭及び母子家庭の方は一年の延長が可能）

■返済方法 毎月元利均等払（ボーナス併用払が可能）

■申し込み・問い合わせ

国民生活金融公庫長岡支店  
☎ 0258-3614360

## 被災世帯の子弟を対象とした奨学金（予約採用）の募集について

日本学生支援機構では、新潟県中越地震などの災害で被災した家庭の子弟の進学を支援するため、奨学金貸与の予約採用（入学後の奨学金貸与を保証）を特別に募集しています。

■対象 災害救助法が適用された地域の被災家庭の生徒等で、平成十七年度に大学・短大・専修学校に入学を希望する方

■申込方法 在学する（出身の）高校（専修学校等）を通して行います。

■問い合わせ 独立行政法人日本学生支援機構 予約採用課  
☎ 03-3269-9711

## その他

### 商業・法人登記事務が コンピュータ処理に 変わります



ら、コンピュータでの処理を開始します。

ただし、作業が完了するまでの間（平成十七年三月二十八日まで）、従来どおりの処理を行う場合がありますので、ご理解をお願いします。

【コンピュータで取り扱う業務】  
・株式会社及び有限会社等の会社の登記事務

・社団法人、財団法人及び事業協同組合等の法人の登記事務  
【コンピュータで取り扱わない業務】  
・平成十六年十二月二十日より前に閉鎖した会社及び法人の登記事務

・解散や破産等の登記がある会社及び法人の登記事務

■問い合わせ  
新潟地方法務局十日町支局

☎ 0257-5212575

新潟地方法務局十日町支局が管轄する商業・法人（会社や財団法人）登記事務について、平成十六年十二月二十日（月）か

冬将軍に  
備えて!

# みんなが 道路除雪の主人公

大震災から約2か月が経ち、ようやく町に落ち着きに戻りつつありますが、次の強敵がやってきます。冬将軍です。本格的な降雪の時期となり、道路除雪も本番を迎えようとしています。大震災のつめあとは、この作業を容易でないものになっています。道路の状況がふだんとは異なるからです。除雪作業をスムーズに進めるためには、わたしたち一人ひとりがそのことをよく理解し、協力することが大切です。実際どんなことに気をつけたらよいのでしょうか。

## 道路除雪は??

**例年どおり実施します**  
国道・県道は県が、町道は町が実施主体となり、震災で破損した道路や消雪パイプを順次復旧しています。本格的な降雪前に除雪路線の復旧を進め、例年どおりの除雪を目指します。  
復旧次第、除雪業者に作業の委託をして、道路除雪を行います。

## いつもと同じに できる??

**震災の影響があるかも**  
除雪車は、道路に積もった雪が一〇センチメートル以上で出動します。朝は七時までに、夕方は五時までに除雪作業が完了することとなっています。  
しかし、震災の影響で道路に凸凹や波打ちがあるために、雪が残ったり時間が遅れる場合があります。その際は、ご理解とご協力をお願いします。

## 注意するポイントは??

**路上駐車はしないで**  
路上駐車等の障害物があると、その場所の作業ができなくなり、交通の支障となります。路上駐車は絶対しないください。  
また、屋根の雪は路上に捨てないください。やむをえず道路に雪を出した場合は、個々の責任で速やかに排雪してください。



消雪パイプ点検中

## 雪が降っているのに消雪パイプが止まっているのは??

**地下水を守るためです**  
これは、節水・節電のため、一定の時間散水を止めているからです。午後二時～三時、午後四時～五時に散水が休止します。限りある資源を守るためですので、ご理解をお願いします。

## ほかには??

**倒れそうなものは処理を**  
地震により、道路に倒れそうな木や石垣などは、降雪前に各自で処理をしてくださるようお願いいたします。

その他のことも含め、ポイントは次のようになります。

- ① 除雪作業中は機械に近寄らない
- ② 道路上には駐車しない
- ③ 屋根の雪は路上に捨てない
- ④ 出入り口は、各戸で除雪する
- ⑤ 消火栓など重要なものは目印をつける
- ⑥ 雪の降らない時は消雪パイプの運転を止める
- ⑦ 雪捨て場確保に協力する
- ⑧ 側溝・流雪溝には水の流れを妨げるものを置かない
- ⑨ 流雪溝への投雪は計画的に

冬の道路確保は、雪国に住むわたしたち全員の責任で行うものです。みんなで協力し合って冬を乗り切りましょう!

### ■除雪についての連絡や相談

十日町地域整備部

☎ 57-5203

役場建設課

☎ 68-4953

## 民生委員・児童委員名簿 (敬称略)

氏名	住所	担当町内
宮田 晴江	山野田	中島町、山野田、発電所通り西
田中 英雄	発電所通り東	発電所通り東、鉄道アパート、南台
藤田 隆策	栄町	栄町、山野田住宅、県営住宅、朝日町
平野 啓介	東善寺	四郎兼、東善寺、上町、田中町
小林スズイ	神社町	中央町、神社町、学校町
櫃間 ヒサ	中屋敷	中屋敷、寺尾、木島、美咲町、木島住宅
数藤 伸治	沖立	沖立
櫃間 弘吉	伊友	伊友、高原田
高橋 巴	坪山	坪山、霜条、鶴吉
古沢紀美子	上野	上野第1、上野第2、みのり団地
松沢 俊夫	上野	上野第3、下平新田、下平新田住宅
蔵品 真隆	元町	元町
若山はな子	新町新田	新町新田
高橋 一	三領	三領、小根岸
大平 高二	木落	木落、寺ヶ崎
山口 康司	仁田	仁田、塩辛
野沢 正	野口	野口、四十歩
丸山 吉一	下原	原田、根深、下原
南雲 直秀	中仙田	中仙田、田戸
半田 武夫	室島	室島、小脇、高倉
高橋 芳春	赤谷	赤谷
金子ヒロ子	岩瀬	岩瀬、大倉
江口 逸雄	小白倉	小白倉、大白倉
川崎 定則	朝日町	町内全域 (主任児童委員)
大平スズイ	木落	町内全域 (主任児童委員)

## 福祉に関する ご相談は 民生委員・ 児童委員まで

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣の委嘱により高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉など福祉全般について、担当町内のみなさんの相談や指導に当たるほか、行政および福祉関係機関の協力者として活動しています。

また、主任児童委員も、厚生労働大臣の委嘱により、町内全域を対象に児童福祉の相談や指導に当たっています。

民生委員・児童委員の担当町内は表のとおりとなっていますので、お気軽にご相談ください。

(任期は平成16年12月1日～平成19年11月30日)

## 年末の 役場窓口業務について

年末は、次の日程で役場の窓口業務を受け付けますので、お気軽にご利用ください。

■期日 12月29日(水)・30日(木)

■時間 8:30～12:00

■窓口業務を行う課等

「住民福祉課」「けんこう支援課国保係・介護保険係」「税務課」「会計課」

なお、役場業務は1月4日(火)から平常業務となります。

## 《川西町国保診療所日程表》

日	曜日	休診内容
1	土	休診日
2	日	休診日
3	月	年始休診日
4	火	午後：仙田上組送迎バス運行日
5	水	
6	木	午後：仙田下組送迎バス運行日
7	金	
8	土	午前：診療 午後：休診
9	日	休診日
10	祝	休診日
11	火	午後：仙田上組送迎バス運行日
12	水	
13	木	午後：仙田下組送迎バス運行日
14	金	午前：診療 午後：休診
15	土	休診日
16	日	休診日
17	月	午後：小児科診療日
18	火	午後：仙田上組送迎バス運行日
19	水	
20	木	午後：仙田下組送迎バス運行日
21	金	
22	土	午前：診療 午後：休診
23	日	休日救急医当番日
24	月	午後：小児科診療日
25	火	午後：仙田上組送迎バス運行日
26	水	
27	木	午後／仙田下組送迎バス運行日
28	金	午前：診療 午後：休診
29	土	休診日
30	日	休診日
31	月	午後：小児科診療日

※受付時間 午前 8:30～11:00 午後 1:30～5:30

※休日救急医当番日の受付 (午前 9:00～11:00 午後 1:30～5:00)



# ザ・川西高校 20

## 「修学旅行」思い出

川西高校では、学校行事として二年で修学旅行を実施しています。行き先については一年次に、生徒および保護者からアンケートをとって決めていきますが、今年度は『北海道』への三泊四日の修学旅行でした。例年は、九州・関西方面で十月中旬に実施していましたが、今年は北海道ということもあり、夏季休業中に実施しました。生徒の感想を紹介します。

### 温泉の全種類を制覇！

《二年一組 西野 舞》

八月二十四日から二十七日、私たちは北海道へ修学旅行に行

きました。北海道は緑がたくさんあって、景色も最高でとても良いところでした。そんな北海道での楽しかった思い出は、一日目の温泉（登別温泉）に友達と入ったことです。

その温泉は、たくさん種類があり、すべり台もありました。私たちはその温泉の全種類を制覇しようと目標を立てて入りました。最初はすごく余裕で入っていたけど、後からフラフラになりながら移動してました。

二つめは、三日目の札幌班別自主研修です。私たちの班は大通公園というとても大きな公園に行きました。夏休み中だったので人がたくさんいて、とてもにぎやかでした。その次にお店に入って、洋服を見たり、買い物などをしました。

そして、ホテルに帰ろうとしたら、道に迷ってしまっ、集合時間を大幅に過ぎてしまい、先生に怒られてしまいました。その時は「いやな思い出だな」

と思ったけれど、今となっては良い思い出になりました。この四日間は、たくさんこのとを学び体験できて、私にとつて、とても良い経験になりました。もうこのメンバーで行くことが出来ないけれど、また北海道へ行ってみたいと思いました。

### 寝坊して最悪

《二年二組 大淵麻美》

本当は『沖縄』に行きたかったのに『北海道』に行くことになってしまい、少しがっかりしましたが、行ってみるとそれなりに楽しかったので良かったです。

北海道ということで飛行機に乗りました。初めての体験だったので、少し緊張しました。飛行機が『離陸する瞬間』がたまりませんでした。そして、空から見る景色はとても素晴らしかったです。

観光などはあまり楽しくなかったけどホテルでは、みんなで騒いでとても楽しかったです。宿泊先の温泉にすべり台があるところもありました。（すべり台で遊びすぎて、ものの皮が剥けている人もいました：おもしろかったです）それと面白い物も楽しかったです。『おみやげ』をやたらいっぱい買ってしま、余ってしまいました。

それから、旅行で大変だったのは『朝』です。起きる時間がとても早かったので、寝坊して朝食に遅れてしまい、最悪でした。その日に記念写真撮影があったのですが、眠かったせいか元気が出ず、すごく不機嫌な顔で写ってしまいました。出来上がった写真を見てみるとやっぱり不機嫌な顔で写ってしまいました。せっかくだから、もっと可愛らしい顔をして撮ってもらえば良かったなあ……と後悔しました。そして、楽しい時間はあっという間に過ぎました。

帰りのバスや飛行機の中で北海道での楽しかった思い出を頭の中で巡らせていました。修学旅行がもう終わりだと思つと、寂しい気持ちになりましたが、たくさん良い思い出が出来て、本当に良かったです。

### 七 にかくアイスクリーム

《二年三組 大熊満美》

一日目は『アイヌ民族博物館』でアイヌ民族のことについて学ぶことが出来ました。

二日目は『体験学習』をしました。私は乳搾りとアイスクリーム作りをしました。初めて乳搾りをして、とても楽しかったです。そこにはいろいろな動物がいて、特に子猫がとても可愛

かったです。アイスクリーム作りでは、みんなで一緒に本格的なアイスクリーム作って食べたのがとても楽しく、良い思い出となりました。

三日目は、班別の『自由研修』で札幌市内の有名なところをいろいろ巡りました。

四日目は、『北海道開拓の村』と『雪印工場』を見学しました。開拓の村では、北海道の歴史について学ぶことが出来ました。

この四日間、とても楽しく、たくさん思い出が出来た修学旅行でした。

『新潟県中越地震』の発生で、町全体が復旧やその後の対応で大変だったと思えます。

川西高校もようやく落ち着きを取り戻して、十一月一日から通常の授業を始めています。

小千谷や川西の山間地の生徒は当初交通手段がなく、来られなかった生徒もいましたが、今は交通も確保されて普通の通学が可能になりました。

生徒の家では損壊したところもあり、まだまだ以前の生活に戻るには大変な家庭もあるようですが、少しずつ明るさを取り戻しています。

## 龍馬の里

千手に「龍馬の里」と呼ばれている小さな公園があつて、地域の人たちが、いろいろな活動に利用している。

昔の水口沢村の鎮守である羽黒社があつた丘であり、またみずから穴を掘って中に座り、静かに鐘を叩きながら亡くなったという坊さんの石祠がある。

龍馬というのは、とくにすぐれて立派な馬のことで、物語が伝えられている。

水口沢の吉左衛門が、馬を引いて大谷堤の近くで草刈をしていたら、急に西山から黒い雲が出て、みるみるうちに空いっぱいになり、大粒の雨が降り始めた。

あわてて馬をつれて林の中へ



遊歩道が伸びる「龍馬の里」

逃げ込もうとしたが、激しい雨で、あたりは真っ暗になり、何も見えないようになってしまった。

そこへ、突然ピカッと雷光が光って眼がくらみ、ドシーンという地響きにはねとばされ、吉左衛門は気を失った。

どのくらいの時が経つたのだろうか、気がついた吉左衛門はソロソロと立ち上がって見た。空はすっかり晴れ上がって、どうなつたかと心配した馬も無事に近くの草むらに立っていた。

それから、何となく馬の様子がおかしいようだったが、腹に子どもを宿していることが分かり、やがて丈夫な仔馬を産んだ。

喜んだ吉左衛門が丹誠込めて大事に育てていると、他の馬とは比べものにならない立派な成長ぶり、あの大夕立のことで知っている近所の人たちは、天から降ってきた龍の力を受けて宿ったもので、龍と馬の合の子だから「龍馬」と呼んでいいだろうと評判した。

馬市に出しても、あまりに立派過ぎるので、とても買い手が出てこない。評判だけが、近郷

に伝わっていった。

この話がとうとう領主の上杉謙信公の耳に入り、放生という名を付けられて乗馬に選ばれた。川中島の合戦で謙信公の乗った馬が、放生だったとも伝えられている。

このようなことから、千手に馬市を開くことが許されて、町の繁盛するものになったという。

## 野口の川端地蔵

野口の治助じいさんが、仕事の帰りに川沿いの道を歩いてい

# おさんといのち

上野 上村政基

(第四十三回)

ると、どこから流れてきたものやら、水際に地蔵様の倒れているのを見つけた。

これはまあ勿体ないことだと、さつそく背負って帰り、家の床様にあげて祀った。

貧乏な暮らしではあるけれども、じいさんばあさんは二人ともやさしく信心深い人だったので、毎朝毎晩おまいりして大事にしていたところ、ある朝、地蔵様の足もとに米粒が盛りあがっているの気がついた。

びっくりして、二人でどうしたのだろうかよく見ると、地

蔵様の尻の穴から、米粒がポロポロと出ていることが分かった。

不思議なことがあるものだと思っているうちに、息子を含めた三人家族で食べる一日分に見合った量が、毎日出てくるので、三人ともびっくりしながら、ますます地蔵様を大切におまいりしていた。

おかげで、家の暮らしもだんだん落ち着いてきた。



川端治助の地蔵といわれる木像（野口）

そのうち、幸い息子に嫁をもらうことができて、新しい暮らしが始まったが、ありがたいことに、地蔵様は嫁の分まで米を増してくれた。

話を聞いて驚いた嫁は、もつと余計に米が出るようになれば、その分だけ米を売って金を貯めることができるだろうと考え、留守番をしているとき、地蔵様の穴をガチガチ叩いて、大

きくしてみた。

その夜、みんなが寝静まったころ、「治助、治助」と呼ぶ声にじいさんが目を覚ますと、枕もとに地蔵様が立っていた。

そして、こうまでされては、私の力ではもう米を出してやるのが出来なくなつたと悲しそうに言い、家族みんなが気持ちよく大事にしてくれたので本当に住みよかつたが、米を出せなくなつても一緒に置いてくれな

いかーと、頼み込んだ。びっくりしたじいさんが飛び起きて見ると、かわいそうに、地蔵様の尻にはいくつも傷がついていた。

翌朝になって、昨夜のことを話すと、思いがけないことになつてしまったと嫁さんは泣き出してしまふし、地蔵様の気持ちを思つてみんなが同情した。

地蔵様の米のおかげで家族が楽しく暮らしてこられたのだから、嫁の気持ちだつて欲張りだけではなかつたのだから、あらためてみんなで地蔵様を大事にして働いていこうと話合つた。

自分が考えなしにやったことを心から後悔した嫁は、それからじいさんばあさんに負けずに地蔵様を大切にお守りして、治助一家は、もつともつと明るく、もつともつと豊かな暮らしになつていった。

# 総務省が告示 合併が正式決定！

## 真剣に考えよう 合併について

36



十月二十六日、総務大臣は十日町地域五市町村の廃置分合について、平成十七年四月一日からその効力が生ずることを告示しました。

この告示は、新潟県知事が県

議会の議決を経て、十月一日付で総務省に対して五市町村の廃置分合を届け出たことによるものです。  
これで、五市町村の合併が、市町村・県・国のそれぞれのレ

### 告示

○総務省告示第八百二十三号

市町村の廃置分合

地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第七条第一項の規定により、十日町市、中魚沼郡川西町、同郡中里村、東頸城郡松代町及び同郡松之山町を廃し、その区域をもって十日町市を設置する旨、新潟県知事から届出があったので、同条第六項の規定に基づき、告示する。  
右の処分は、平成十七年四月一日からその効力を生ずるものとする。

平成十六年十月二十六日

総務大臣 麻生太郎

ベルで正式に議決・決定されたことになり、あとは具体的に実務を進め、来年四月一日の合併当日を迎えることとなります。

### 第六回合併協議会が開催

十月四日、中里村総合センターにおいて第六回合併協議会が開催され、第二回補正予算の承認や、地域自治組織の考え方などについて協議が行われました。

### ◆一連の動きについて報告

- 合併協定調印式  
七月二十三日、十日町市クロスステンにおいて、合併協定書の調印式が行われました。
- 配置分合の議会議決  
七月二十八日、五市町村議会において、配置分合議案のほか合併関連議案が可決されました。
- 県議会で議決  
五市町村の配置分合議案が県議会九月定例会に上程され、九月二十七日の本会議で可決されました。
- 総務大臣に届出



第六回合併協議会であいさつする  
協議会長の滝沢十日町市長

# 真剣に考えよう 合併について

市章のデザインとして応募のあった275点の作品は、一点一点慎重に審査されました



県知事は、県議会での議決を受けて十月一日、総務省に五市町村の配置分合について届け出ました。

## ◆新市の市章募集に二七五点が応募

新市の市章の応募状況が報告されました。応募総数は二七五点となり、その内訳は五市町村の方から一二四点、県内の方から四五点、県外から一〇六点の応募があったことが報告されました。

これまで市章選定小委員会を五回開き、応募作品を五点到絞りで込んでいます。一次審査で選定された五五点について、次の段階で一〇点まで絞り込み、第五回小委員会ですらに五点到絞り込みました。類似作品との照合調査も終わり、これから合併構成市町村の全世帯を対象とした住民意向調査を実施します。この住民意向調査の結果を踏まえ、十二月二十四日の第七回合併協議会で、市章が決定される予定です。

## ◆合併協議会予算の補正を承認

合併協議会補正予算が協議され、歳入歳出それぞれ二一八万円を増額する補正予算が承認されました。

主な内容は、十月二日に開催された「地域自治シンポジウム」の講師及びパネリストへの報酬と旅費。また、新市の名称案応募者に対する記念品代金、市章を決定するためのアンケート調査用紙の印刷代金などとなっています。

## ◆地域自治組織は引き続き協議

地域自治組織についても協議がありました。合併後のまちづくりを進めるための組織として「地域自治組織」を置くこととし、その組織の内容について、事務局から説明がありました。

まちづくりのあり方として、「住民と行政の協働により地域の特性を活かしたまちづくりを進めるため、新市の区域を分け、地域自治組織として地域協議会を置くこととする」としています。

地域自治組織としての地域協議会は、川西町、中里村、松代町及び松之山町は、それぞれの町村の区域を単位として設置し、十日町市においては、今後住民と協議して区域を定めることとしています。

地域自治組織のさらなる調査研究及び地域協議会間の連絡調整のため、本庁に新たな付属機関を設置することや、地域協議

会の自主的な活動のため、必要な便宜を図るように努めることとされています。

この説明に対し、委員からいろいろな意見がありました。現段階では組織づくりの途中であり、今回出された意見や、それぞれの地域についての議論を参考にしながら、十二月議会を目処にまとめていこうということになりました。

## 中越大震災で行政事務の統合調整に水入り

急ピッチで進めていた行政事務の統合調整作業が、新潟県中越大震災で一時中断しました。



「地域自治シンポジウム」で基調講演する千葉大学教授の大森彌氏



地震直後の役場事務室

地震から約二週間は、協議会  
はもとより、分科会も一切開催  
することができませんでした。  
一か月以上遅れて開催する分科  
会も多くありました。

中越大震災は、圏域では川西  
町と十日町市の被害が大きく、  
中里村、松代町、松之山町では  
比較的被害が少ないようでした。  
この地震で行政事務の調整  
も「水入り」状態となり、今後、  
この遅れを取り戻すために、よ  
り一層厳しいスケジュールが課  
されることとなります。

**新市の行政組織がほぼ  
固まりました**

新市の行政組織がほぼ固まり  
ました。新市の行政組織は、市  
議会、市長部局及び教育委員会  
部局で構成されており、さらに、  
選挙管理委員会、公平委員会、  
監査委員、農業委員会、固定資  
産評価審査会の五つの行政委員  
会と、水道事業で組織されてい  
ます。また、市長部局には本庁  
と支所があります。

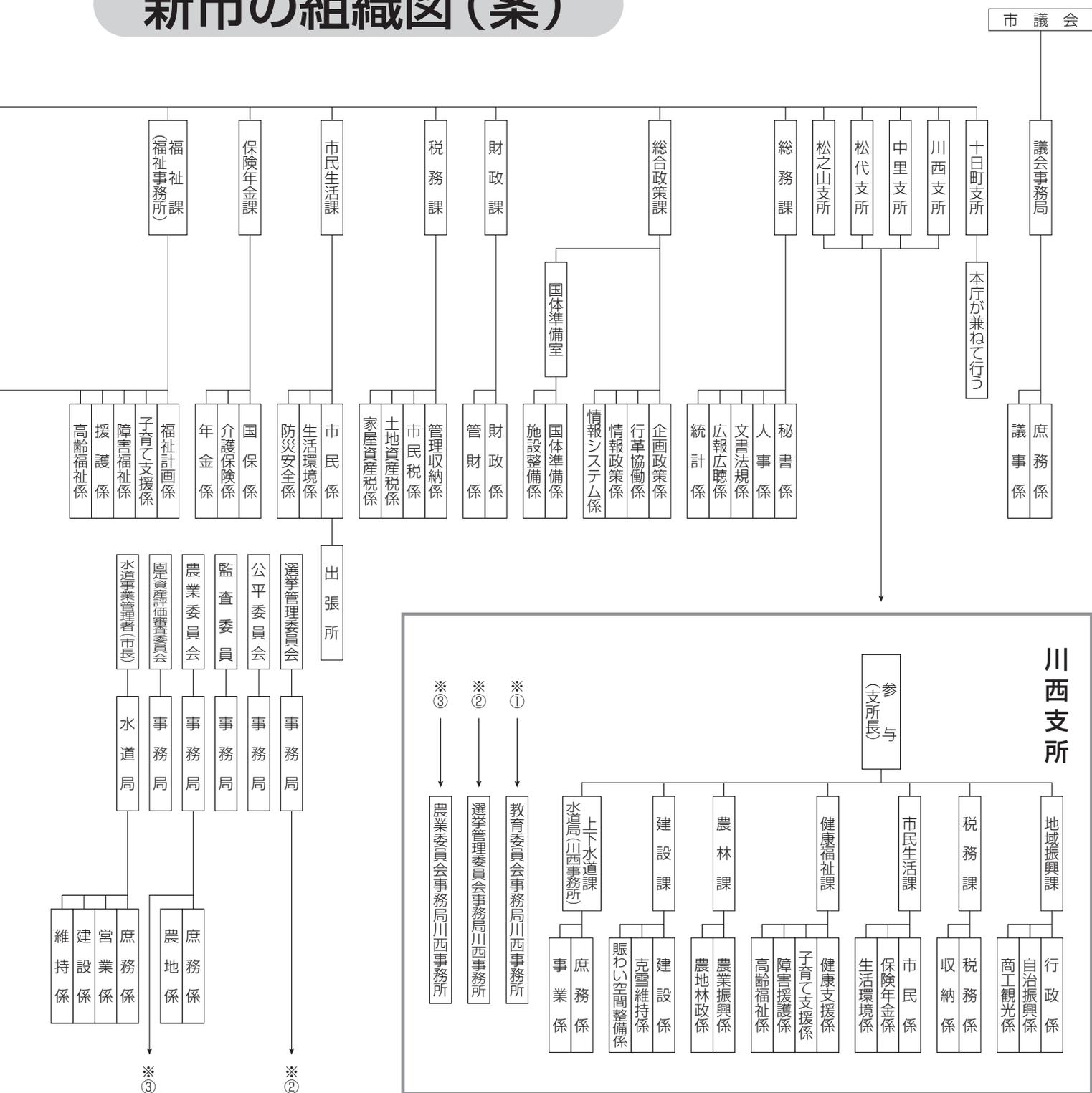
●本庁の業務

新市全体の施策や総合的な調  
整・管理、部門別あるいは各支  
所との調整などを行います。

●支所の業務

合併前の市町村の区域を所管  
し、地域振興部門、各種窓口サ

**新市の組織図(案)**





# 第二十五回「わたしの主張」地区大会で奨励賞

第二十五回を数える「わたしの主張」地区大会で、川西中学校三年の押木優花さんが、奨励賞を受賞しました。その内容をご紹介します。

## 経験をプラスにして

押木 優花



私は二年生の二月、生徒会役員選挙で生徒会長に立候補しました。二年生の頃、執行部をやっていた経験を生かし、よりよい川中のために何かできないかと考えた結果でした。たくさんの人から応援をしてもらったり支えてもらったりして、当選することができました。その時は心に迷いもなく、期待と希望でいっぱいでした。

最初、仕事を始めたときはわからないこともたくさんあり、先生に頼りがちでした。そのうち徐々に仕事もわかってきて、自分たちで活動することができるようになってきました。しかしその一方で、仕事を続けていくうちに、今まで気にならなかったことが気になるようになってきました。

生徒会長という役割に就いての責任感からか、校則違反が目につくようになり、その中でも不要物の持ち込みがとても気に

なってきたのです。「生徒会長だから注意しなければいけない」という思いから、少しずつ注意するようになりました。言えは直してくれる人がほとんどで、最初は私も安心していました。

ところが、ある日突然、人に注意できなくなりました。そして、だんだんと不安や迷いなどを感ずるようになってきました。自分の心のどこかで、「悪口を言われたらどうしよう」「軽蔑されたらどうしよう」という思いがあったのだと思います。そして、不要物の持ち込みを目にしても、その輪の中に入らないでいるのが精一杯でした。そんな自分が情けなく思い、その時初めて不安を感じました。そんな精神状態の中、生徒会執行部の活動でみんなをうまくまとめられなかった時は本当に落ち込みました。

あの頃は、生徒会長という役割がすごく重荷になっていました。「生徒会長だからこうでなければいけない」という思いが、一人の川西中の生徒としての立場をなくしてしまいました。そのため、毎日の学校生活にすごく息苦しさを感じていました。そんなとき、励ましてくれる人たちがいました。私が忙しそうにしている、「優花、がんばっ

て！」と声をかけてくれる人がいて、その言葉が本当にうれしかったのです。こんな自分を応援してくれる人がいると思うと、少しずつがんばれる勇気が湧いてきました。その時、改めて友達へのありがたみを感じ、それと同時に生徒会長という立場の大変さが身にしました。生徒会長という役職は自分で決めた道であり、全校生徒のみなさんが選んでくれた大事な役職です。生徒会長という役職に対しての気持ち、不安から前向きな気持ちに変っていました。「ここで止まってしまうといけない」、「前へ進まなければいけない」と思い、失敗しながらもここまで来ることができました。

そんな出来事から自分自身が強くなれたと思うし、大きく成長できたと思います。生徒会長になったことで辛い思いをして落ち込んだりもしました。しかしその代わりに、多くのことを得ることができました。改めて友達のありがたみを感じ、いつも当たり前だに思っていたことに対して、感謝の気持ちを持つことができるようになりました。これからはいろいろな活動をしていく中で、辛い思いをしたり、落ち込んだりすることがたくさんあると思います。しかし、それらの経験が新しい発見や新しい考え方につながっていく、自分にとってプラスになっていくことを信じてがんばっていきたいです。

そして、ずっと私を支えて応援してくれた友達に感謝し、自分で決めた道を精一杯歩んでいきたいと思えます。これからも私は生徒会長の仕事をがんばっていきます。

押木さんは、余裕がなく追い詰められていたときに、「一人で思い詰めていないで相談してみたら」という先生のアドバイスで気持ちが楽になったそうです。

また、十月二十三日の地震のときも友達としがみつき合っで収まるのを待ちました。自宅に帰って家族の無事をみんな喜び合ったときも、あらためて人と人が支え合うことの大切さを感じたそうです。

この体験でさらに一回り大きくなった押木さん、残り三か月の中学校生活に全力投球中です。

川西町 体育協会

震災を乗り越えて

去る十月二十三日の新潟県中越大地震発生から二か月近くが経過して、普段の生活にも少しずつ落ち着きを取り戻してきたことかと思えますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。さて、今回の地震で町内の各



アリーナに落下した照明と天井のボード（総合体育館）

皆さんからのご協力をお願いすることもあろうかと思いますが、みんなと一緒に心地よい汗を流す日を目指して、ともに頑張っていきましょう！

体育施設及び各小中学校の体育館も被害を受けました。中でも主要なスポーツ活動の場となっている総合体育館については、使用再開の目処がまったく立っていません。そのため町体育協会及び各団体の開催する各種行事等も、中止せざるを得ない状況です。

これから雪の降る季節を迎え、競技力の向上はもちろん、日頃の運動不足やストレスを解消するのにも大切な屋内体育施設が使用できないのは、非常に残念なことです。

しかしながら、比較的被害の少なかったスポーツパレス川西については使用が再開される見込みで、明るい兆しも見えてきました。他の施設についての早期使用再開の申し入れをはじめ、活動の場を確保するための努力をしていくつもりです。

今年七月から、役場前の賑わい空間エリア内で建築工事を進めている「千手中央コミュニティセンター」の建築状況などを、このコーナーで順次お伝えします。

新しい施設は約三倍に

今回の工事は、昭和四十九年春から長い間ご利用いただいた総合センターを全面的に改修（リニューアル）する工事と、新たにホール部分を増築する工事が主なものです。完成すると一体的に使用できる、今までの総合センターの約三倍の床面積を持つ施設



鉄骨梁で三階の床を補強している工事

ができます。

資源を有効にリニューアル工事

現在の工事現場は、「防音」と表示されたシートで建物全体が覆われていて、周辺から建物内部は見えません。このシートの中では、全ての壁や窓が取払われた「まるで骨だけ」の状態

お騒がせしています 工事が進む 千手中央コミセン

1

となっております。

昨年、総合センターの健康度II建物の状態を調査したところ、基礎部分、床のコンクリートなどは経過年数による劣化的な異常がほとんどなく、十分な再利用が可能なのがわかりました。

大地震でも無傷！

そこで、現在の耐震基準に適合しない壁の厚さと、床や一部の柱などを補強し、全面的に間取りを変更するリニューアル工事を進めています。

そんな工事を進めていた矢先の十月二十三日、あの大地震が起きました。

「まるで骨だけ」の状態で震度六の大地震に見舞われましたが、基礎の沈下や構造の傾斜等の被害はほとんどなく、そのまま工事を続けています。

安全な工事を進めます

この千手中央コミュニティセンターは、住宅地にある総合センターの位置を動かさずに建築を進めていることから、周辺にお住まいの方々などに迷惑をおかけしない工事でなければなりません。

工事現場の周辺には千手温泉や、健康プール、商業施設などに多くのお客様が集まります。

大型工事車両や、資材の運搬時に誘導員の配置を行うなど、安全な工事を進めますので、皆様のご協力をお願いします。

担当 教育委員会生涯学習課 068-21167

# 燃焼!!

10月10日、4年ごとに開催されてきた「川西町民体育祭」が、川西中学校グラウンドで開催されました。

第11回目となった今大会は、前日からの激しい雨が朝方まで降り続き、開催そのものが危ぶまれましたが、(来年4月には、市町村合併により新しい十日町市が誕生するため)「川西町として最後となる体育祭をなんとかやりたい!」というみんなの熱意が天に通じたのか、次第に天候が回復し、最終的には晴天のもとでの開催となりました。

日頃の夫婦のコミュニケーションの差?が勝負を分けた(仲良しリレー)



高橋さん親子の宣誓は、みんなの気持ちを和ませてくれました

## 川西町として最後の町民体育祭

### 親子で選手宣誓

開会式では、千手南部、千手北部、上野、橘、仙田の五地区から選手・応援団約二、〇〇〇人が参加して入場行進したあと、聖火が聖火台に点火されました。

田口直人大大会会長のあいさつに続き、小野塚裕さん(川西中)が体力づくり宣言町宣言文を朗読、高橋数昭・直哉・智哉・賢哉さん親子(仁田)が力強く選手宣誓を行いました。

そして、準備運動の後、早速競技に入りました。

### 競技は橘地区が二連覇

競技は、小学生による五〇メートル走、一〇〇メートル走に始まり、中学生による物干し竿に八人がつかまって回りながら走るタイフーンや六十五歳以上による玉入れ、年代別の珍メドレーリレー、幼児レース、大なわとび、綱引きなど、子どもから高齢者まで参加できる十四の種目で熱戦が展開されました。

特に今年は、上野地区と橘地区が競技ごとに抜きつ抜かれつのデッドヒートを演じ、優勝の行方は、最終種目にゆだねられることになりました。

小学校低学年から五〇歳代まで二二走もある最終の年代別リ

レーも大熱戦が展開されました。大声援の中、各年代の選手が歯を食いしばって走りバトンをつなぐ姿は、これからの川西町・川西地区のあるべき姿を象徴しているようでした。

### 応援は上野地区が驚異の五連覇

一方、応援の部では、各チームとも趣向を凝らした衣装で応援団を編成するとともに、巨大なマスコットや旗で存在をアピールしました。声をからしての応援も終始競技を盛り上げ、午

前、午後それぞれに行われた応援合戦も、各チームとも踊りやパフォーマンスをふんだんに取り入れて、連日の練習量がうかがえる素晴らしいものでした。

### 地震で町は壊れても

また、競技終了後、一昨年の夏に発表され各地で浸透しつつある「天神ばやし」かわにし

# 完全

よーし、行くぞ！一斉スタート



雨あがりの朝、グラウンドの水をかき出してラインを引きました



あともう少し、もうちょっとでゴールだ！



カゴにボールは…  
なかなか入りません  
(珍メドレー)



パフォーマンスではありません、転倒です…大丈夫、ちゃんとゴールしました



コーンをまわるときのスピードコントロールがむずかしかった(タイフーン)

## 私が感じた町民体育祭

町民体育祭に積極的に参加した住民のみなさんから感想を寄せていただきました。(敬称略)

「Gottakui」が、住民有志の自主参加によって踊られ、川西町として最後の町民体育祭に花を添えていました。  
住民同士のふれあいと結束を確認しあった町民体育祭から二週間後、巨大地震が町を襲いま

した。  
山や田んぼ、道や川、家や工場は壊れましたが、このとき培った人の心のつながりは、決して壊れることはありませんでした。

## 町民体育祭から 地区民体育祭へ

千手南部地区

高橋 俊一 (49・上町)

女心にもたとえられる「秋の空」が、こんなふうに微笑んでくれるとは思いませんでした。誰もが中止を覚悟していた中で、「十月十日は晴天の特異日」を信じて準備を進めてくれた関係者の皆様に敬意を表します。台風一過の爽やかな青空の下、思い出に残る最後の川西町民体育祭を楽しむことができました。  
得のいく応援ができたと自負しています。「楽しめばいいや」と、あまり勝つ気のない競技の方も、最後のリレーが思いがけない一等賞で大興奮。参加した人たちの笑顔と瞳の輝きが秋空に溶けこんだ一日でした。  
川西町としては最後の町民体育祭ですが、「川西地区」と呼ばれるようになって、地区住民の親交を深めるために、これがより充実した形での「地区民体育祭」へとつながって行くことを熱望します。

## みこしで完全燃焼

千手北部地区

星名 園江 (42・沖立)

とかくまとまりが悪いと言われるわが千手南部地区ですが、委員長の人柄が各委員、有志、小中学生を動かして、客観的評価はともかく、当人たちには納得

私たちが、沖立女みこし会は、五年前に沖立の女しよの中で



やったー、1等賞!



重量級をそろえた橘地区は全勝優勝(綱引き)



親の背中を渡ってゴールをめざす「矢切の渡し」



この緊張感が応援の部5連覇を導きました(上野地区)



女みこしが、まさに華を添えました(千手北部地区)



決めたよ!よさこいソーラン(千手南部地区)

「もつと祭を盛り上げたい、もつと祭を楽しみたい」と思う有志たちで、沖立集落の多大な援助と協力のもとで立ち上がった会です。

毎年、千手まつりの二、三か月前から演舞の練習をして作りあげていくのですが、今年は雨のため未消化のまま終了。

そんなとき、北部応援団から、午後の応援合戦を沖立女みこし会でやってもらえないだろうかという依頼があり、町民体育祭に参加することになりました。

実際、体育祭では、他チームの応援人数の多さ、まとまりの良さ、演出のすばらしさに感動しました。私たちも力いっぱい演じましたが、いつものスタイルにこだわったため、小さくまとめ過ぎちゃったかな?という反省点が残りました。

何はともあれ、参加させていただき、楽しむことができたことが一番の収穫です。ありがとうございました。

## 上野最高!

上野地区

渡貫裕子(37・上野)

川西町としては最後となるこの町民体育祭が、こんなに楽しくて思い出深いものになるとは思ってもいませんでした。

一か月以上前から応援団の練習はもちろん、選手集め、パネルやマスケット作りなどみんなの力を合わせて準備を進めました。そして当日は大勢の地区の方々の応援も加わり、すばらしい団結力となりました。

選手の人たちも力を出し切ってがんばってくれました。応援優勝という結果が出せた充実感、そして、「楽しかったよ」「がんばったね」とみなさんから声をかけていただいたのが何よりもうれしく感じました。

上野って本当にいいところだなと、改めて感じさせてくれた体育祭でした。

## こうやって地域は育つ

上野地区

押木敦子(46・元町)

体育祭が終わりました。というより、終わってしまったという感じです。「燃え尽き症候群」というような感じで、ボーっとしてしまいました。

夏祭りが終わったところから約二か月間、応援団のマネージャーという役を仰せつかった私は、毎晩のように準備に追われる毎日でした。それぞれの担当のみなさんも、連日の準備本当にご苦労さまでした。

今回目標だった総合優勝は惜

# 川西町として 最後の町民体育祭

## 第11回町民体育祭の結果 競技の部

順位	地区名	得点
1	橋地区	740
2	上野地区	735
3	仙田地区	540
4	千手北部地区	505
5	千手南部地区	480

## 応援の部

順位	地区名	得点
1	上野地区	2,039
2	橋地区	2,015
3	仙田地区	1,860
4	千手南部地区	1,740
5	千手北部地区	1,655

## 町民体育祭の優勝経過

回	年度	競技の部	応援の部
1	S39	仙田地区	—
2	43	橋地区	—
3	47	上野地区	—
4	51	上野地区	—
5	55	上野地区	—
6	59	千手地区	上野地区
7	63	雨につき勝敗預かり	
8	H 4	橋地区	上野地区
9	8	千手地区	上野地区
10	12	橋地区	上野地区
11	16	橋地区	上野地区



慣れている人も、初めての人も  
一緒になって楽しみました  
(天神ばやしかわにし Gottaku!!)



ほら、入れそ、ほら!



きゃー、当たらないで!  
(大なわとび)



やはり子どもたちが燃えました  
(仙田地区)



男っぽさが新鮮でした (橋地区)

## 赤いさらしで覚悟を 決める

橋地区

野沢雅人(35・野口)

今回、橋地区は競技はもちろん、応援でも何とか優勝したいという強い思いで十回以上もの練習をしてきました。

練習では、「こんな踊りは難

しくも逃してしまいました。本当に盛り上がりました。あつという間の一日で、心の底から楽しむことができました。応援団はもちろんですが、一般のみなさんの応援はすばらしく、踊りのかけ声がどんどん大きくなって勢いを増して先行してしまいい、応援団員が苦笑いする一幕もあったほどです。

今回の体育祭は、地域の多くの方々にお手伝いをしていただき、支えられ、まさに上野の底力を感じました。そして、私たちが先輩方から引き継いだこの伝統を、若い世代に引き継ぐことができると確信が持てました。こうやって地域は育っていきんだなあ、うれしく思いました。

体育祭は、地域が一丸となって取り組める行事ですので、合併後もぜひ残してほしいと思います。

## 密かにねらっていました

仙田地区

中條裕基(47・岩瀬)

今回で川西町としては最後の町民体育祭ということ、とにかく燃えました。応援団という重責を仰せつかったのでプレッシャーもありましたが、それも含めて楽しむことができました。

練習は一回こっきりでしたが、大勢の人が参加してくれたので「いける」と思いました。当日も絶好調で密かに応援の部の優勝をねらっていました。結果的にはその夢は果たせませんでした。みんな力を合わせたときの満足感は一生涯ないでしょう。

老若男女、特に大人と子どもと一緒に楽しく、熱くすることができるとこの体育祭は、ぜひ今後も続いてほしいと願っています。

「いいし、恥ずかしくて嫌だ」と不満の声もあり、まとまりに欠けていましたが、本番では裸に赤いさらしを巻いて覚悟ができたのか、すばらしい踊りで他の地区からも賛辞をいただきました。

## 震災に負けるな！

## 今年も「木落そば」は健在

十一月二十一日、蕎麦づくりないくらが(田口徳一代表)主催の、第九回「喰い道楽・もくらくぞつき秋の陣」が木落構造改善センターを会場に開催されました。

今年も、中越大震災の影響で開催が危がまれましたが、「震災復興をここから」の意気込みで開催にこぎつけました。

二年連続不作だったそばの作柄も今年は上々で、ムラ中総出で打ったそば四〇〇食がふるまわれました。会場は、開店の十一時四十五分直後にほぼ満席となり、そばが配られるやいなや、つつつ、ぞぞぞぞという音が会場を支配しました。

毎年参加しているという十日町市の六〇代の女性は、「今年も地震で無理だと思っていました、開催すると聞いてとんできました。こんな風に地域あげてがんばっている姿を見ると、元気が出ます」と、身も心もエネルギーを補給して、満足そうでした。

そばのほか、大福餅や手作り豆腐、モツの煮込みなども飛ぶように売れ、「うんめもんどころ木落」のブランドは、すっかり定着しました。



そば打ち専門の機械も導入しました



あっという間に平らげて、しばしゆで上がりを待っています

## 5市町村社協が合併 新「十日町社会福祉協議会」へ



あいさつする小林義幸  
川西町社協会長

地震前日の10月22日、十日町市のクロステンにおいて、十日町市、川西町、中里村、松代町、松之山町のそれぞれの社会福祉協議会による「合併協定調印式」が行われました。

社会福祉協議会の合併も、十日町広域圏五市町村の合併に歩調を合わせて進めており、来年4月1日には、新しい「社会福祉法人十日町社会福祉協議会」が誕生することになります。

合併方式は新設合併で、本所は十日町支所に併設し、川西、中里、松代、松之山の各支所が設けられます。現在の各社協が所有している財産や債務、管理を受託している福祉施設の運営なども、新社協が行うことになります。

また、臨時職員を含む全職員も新社協に引き継がれ、全体の業務を遂行することになります。

式典では、新しい社協の会長理事となる西野幸雄十日町社協会長が、「一市一社協の原則で協議を進め、今日の調印式を迎えることができ感謝です。職員、ボランティア、住民の三者が連携した福祉のまちづくりを進めたい」とあいさつし、経過報告、地元3県議、5市町村長などの立会



固く手を握り合う五市町村の社協会長

人紹介が行われた後、合併協定の調印が行われました。

その後のあいさつで川西町の小林義幸会長は、「小異を捨てて大同につくことになるが、広く薄くにならないようにすることが大事。社協の目的は、誰もが安心して暮らせる社会づくり。誰のためでもない、住民のための社協と、胸を張っているような活動を展開しなければならない」と、力を込めて活動の充実を訴えました。

合併調印の翌日23日、あの巨大地震が地域を襲いました。

小林会長の自宅と店舗は地盤が約1メートルも下がってしまい、避難勧告のもと今も避難生活を余儀なくされています。そんな中でも小林さんは、「まあ、前を向いていがんぞ」と各種会議や事業など、会長としての職責を精力的にこなしています。

## 復興、応援します！

## 千手温泉・千年の湯の三周年記念イベントは大盛況



終日人出が絶えませんでした

11月23日、千手温泉・千年の湯で、震災復興にはずみをつけるとともに、オープン3周年を祝う記念イベントが催されました。

小春日和の暖かい陽ざしのもと、会場の駐車場は、屋台やもちつきをめぐりに集まった、お年寄りや子ども連れなどの家族などでいっぱいになりました。

特に、川西スタンプ台紙1冊と引き替えの荒巻鮭が配られた午後1時には長蛇の列ができて、「用意した200本で足りるべか」と、主催者をあわてさせる一幕も。

催しがお開きになるころ、西日が射すよしずに囲まれた足湯に浸りながら、つきたての新米の餅をおいしそうに食べる子どもたちの姿が印象的でした。

当初から、泉質と効能で好評の千手温泉は、開館から3年たっても人気は全く衰えていないようです。

## 笑って元気出して 桂歌助師匠が落語激励公演

十一月十六日、十日町市出身の落語家桂歌助師匠と、上越市出身の二ツ目瀧川鯉橋さんが、橋小学校避難所（当時）を訪れ、避難所で生活していた寺ヶ崎地区の住民と橋小学校児童を、落語で激励しました。

これは、歌助師匠など新潟県出身の落語家が、「被災した人たちが笑ってストレスを発散し、元を取り戻してほしい」と無償で出張公演を行っている事業の一環として行われたもので、当日は、避難所で生活する住民と同校の三年以上約一〇〇人が集まりました。落語では、鯉橋さんが「時そば」、歌助師匠が「初天神」と、小学生でも理解しやすいネタを披露して盛んな笑いを誘っていました。落語を聞き終えた六年生の星野美樹さん

は、「落語は初めて聞きました。特に最後のオチがおもしろかった」と、また、藤巻アキさん（寺ヶ崎）は、「笑うことはいいことですね。でも、笑わせるのは難しいこと。歌助師匠はさすが真打ちで、思いつきり笑わせてもらいました」と笑顔で感想を語ってくれました。

歌助師匠も、「なかなか笑える状況じゃないのに、みなさん、反応良く笑ってくれました。こっちが元気ももらいましたよ」と、満足そうに語りながら、足早に次の激励会場へと向かいました。



歌助師匠の仕草も大いにウケけました

## 川西町でロケ

## NHK朝の連続テレビ小説のヒロイン主演の映画

十一月二十九日、来年全国ロードショー公開予定の映画の撮影が、町内の林道などで行われました。

映画「黄泉（仮）」（小松隆志監督）は、不老不死、救世主という奥深いテーマを扱ったスケールの大きな伝奇ロマン・ファンタジーで、主演はNHK朝の連続テレビ小説「天花」のヒロインを演じた藤沢恵麻さんと、テレビなどでおなじみの俳優阿部寛さん。

ロケ隊は、四トントラック、給水車、撮影用ボンネットバスと乗用車を含む車約二〇台、スタッフ（監督、助監督、カメラ、プロダクション含む）二〇人、エキストラ四〇人、役者一〇人という大がかりなもので、川西町では、不老不死の一族が住むという伝説の隠れ里へと続く険しい道のシーンが撮影されました。

川西町が撮影場所選ばれた理由は、パンフレットで目に止まった風景を目ざして来町したスタッフがたまたま見つけた撮影候補地が、監督のイメージとぴったり一致したからとのこと。



雨の中、レトロな車が何度も行き交いました

当日の天候はあいにくの雨でしたが、レトロな雰囲気がいっぱいのボンネットバスと乗用車がすれ違うシーンを、何度もテストを繰り返しながら撮影していました。来年の公開が待ち遠しいですね。

# 表彰されました!

## 25年間の配食ボランティア活動に 高い評価

十一月三日、昭和五十四年から活動が続いている配食ボランティア「福寿草」が、長年の福祉活動の功績が認められて、新潟県知事から表彰を受けました。

同会は、会員数三八人からなるボランティア団体で、高齢世帯、単身高齢者、身体障害者世帯などに、やはりボランティアによって作られた給食を宅配しています。雨の日も、風の日も、雪の日も休まず毎月八回、年間九六回、安否確認も兼ねて暖かい弁当を届けています。

表彰状を手にした渡辺道哉代表（65・上野／西永寺住職）は、「ふたん、そんな大それたことを考えながら活動をしているわけじゃないけど、こんなの（表彰状）いただきたいんですよ、なんだかとても偉いことしているみたいになっちゃうな（笑）。ま、これからも続けます、地道に」と、にこやかに決意を新たにしていました。



「持つのは紙でも中身は重い」と笑う渡辺代表

## 「千年の森コンサート」に 環境大賞

十二月四日、ラポート十日町（十日町市）で第五回妻有ショッピングセンター環境大賞表彰式が行われ、川西町の「千年の森コンサート実行委員会」（小林重則実行委員長）が、環境大賞を受賞しました。

同会は、「訪れた人たちがブナの生命力を浴びる森林浴と、一流音楽を浴びる音楽浴を同時に体験できる」事業として、平成九年からブナの二六公園で「千年の森コンサート」を開催しています。

オカリナの宗次郎やジャズヴァイオリンの寺井尚子など、国内外で活躍するアーティストを招いてのコンサートは、毎年町内外から一、〇〇〇人を超える観客が訪れるなど、町を代表する催しに成長しました。しかし、多くの来訪者を迎えることで、かえってブナの根を傷めている現実に直面し、平成十四年からは川西中学校生徒の協力も得て、ブナの根を守る保全活動を実施しているとともに、コンサートの開催を隔年としています。

こうした、コンサートを目的として設立された実行委員会が、ブナの保全活動を行うことで天然ブナ林との共存に目覚め、自然保護活動を実践していることが高く評価され、見事大賞受賞となりました。小林実行委員長（49・木島）は、「環境保全と観光を融合させた活動が認められてうれしいです。これからも、貴重な自然財産が後世に受け継がれるように、自然の中から新しい文化が育まれるように、活動を続けていきます」と、早くも次の催しへと思いをはせていました。



城谷美和妻有ショッピングセンター同友店会会長から、賞状と副賞を受け取る小林実行委員長（中央）と北村良二実行委員（右）

# 新潟県知事選挙結果

10月17日

川西町開票区



張りつめた空気の中で行われる開票作業

## ●投票状況（川西町開票区）

投票当日の最終有権者数	男	3,156人	計	6,457人
	女	3,301人		
投票者数	男	2,213人	計	4,502人
	女	2,289人		
投票率	男	70.12%	計	69.72%
	女	69.34%		

## ●候補者別の得票数（届出順／敬称略）

候補者氏名	確定投票数
こばやし 一三	658票
かわまた 幸雄	76票
いずみだ 裕彦	1,644票
たが 秀敏	1,166票
伊藤 ゆうじ	143票
みやこし 馨	724票
有効投票計	4,411票
無効投票計	91票
合計	4,502票

## ●震災1週間前の選挙

10月17日に行われた、新潟県知事選挙の結果を報告します。

今回の県知事選では、3期12年勤めた平山県政の引退後をはじめで行われる選挙に、過去最高の6人の候補者が立候補するという、まれに見る激戦になりました。

しかし、有権者の関心は低く、今回の全県の投票率は男55%程度、女52%程度、計53%程度に止まり、前回の投票率（男63%程度、女63%程度、計63%程度）から大きく10ポイントも下回る結果となりました。

## ●混乱の中で泉田県政スタート

選挙結果としては、泉田裕彦氏が当選し、現職知事としては全国最年少知事（42歳）の誕生となりました。

新旧知事による事務引継を10月25日に控えた23日に中越大地震が発生し、混乱の中での泉田県政のスタートとなりました。

川西町の結果は表のとおりです。



全体がすすけて黒光りする中に、さざ波のような木目が浮かび上がっている質感は、

役場の新名所、見に来ませんか。

ここは役場内。文書を携えて部屋に入る職員。ドアを開けて「あれ、このドアちよつとへん。」

東からボランテアで公共施設の補修に駆けつけてくれた大工さんたち。で、その棟梁が見つめてきた材料に中にこの戸があり、「よし、ドアに使っちゃえ」と取り付けてくれたというわけです。

## レトロドア？

ホームアップ  
役場  
42

とってもレトロでいい感じですね。とはいえ、なんでこんな古い戸がドアに。実は、このドアが付いている場所は、さきの地震で使えなくなった庁舎部分と使用している部分の間に設けられた仕切壁の一角。

# だんだん どーも!

39

## 忘飯? カメラの巻

「いやー物好きだんだんが  
続けてらんぞ。ところで、こ  
のイタチの後ろ姿、何ともこ  
っけいだろ(笑)」。

新潟県自然観察指導員の南  
雲敏夫さん(51・中屋敷)は、  
動物センサー付きカメラで撮  
影した写真を示しながら、目  
を細めてそう言います。

南雲さんは、「地元にな  
がらどんな動物がいるのか実  
態がわからない」と昨年十一  
月、住宅地に近い沢筋を流れ  
る川にかかる丸木橋の  
たもとに、このカメラ  
を設置しました。

野生動物は夜行性の  
ものが多いことから、  
以来、夜カメラを仕掛  
けて朝回収するという  
作業を、荒天の日を除  
いてほぼ毎日続けてい  
ます。

丸木橋のたもとに設  
置した理由は、「動物  
も必ず橋を渡るから」  
ということで、これま



でに南雲さんのカメラに収ま  
ったのは、イタチ、タヌキ、  
キツネ、アナグマ、ハクビシ  
ン、リス、ネズミ、テンなど、  
主に里山に生息する動物たち  
で、成果はホームページで公  
開しています。

(<http://www.neptune.jstar.ne.jp/~img253/>)

ところで、なんで後ろ姿が  
面白いの? 「だって、凶鑑や  
写真集を見たって出てねべが  
ね。なるほど」。

ご飯は忘れても、このカメ  
ラのチェックは忘れないとい  
う南雲さんの観察人生は、こ  
れから本番のようです。  
(14ページにも関連記事が  
あります)

## 地震後

### どうですか?

②

### ストレスとこころの健康



震災によって心身の調子を  
崩されていた方も、月日がた  
つにつれ、次第に回復してい  
ることと思います。

地震のような大きなストレ  
スによって体調を崩したり不  
安で眠れなくなったりするこ  
とは珍しいことではありません  
ですが、多くの場合、二、三か  
月もすれば、ほぼ元通りの生  
活を送れるようになるといわ  
れています。

ところが、逆に、ある程度  
時間がたつてから、具合が悪  
くなる方がいらつしゃいま  
す。ひとつには、「火事場の  
なんとか力」(これ自体、ス  
トレスに対する生体防御反応  
です)で頑張り過ぎていた方  
がとうとう限界に達してしま  
ったというケース。もうひと  
つは、大きなストレスの影響  
からは脱していても、日々、  
小さなストレスにさらされて  
いることによって心身が参っ  
てしまうケースです。

意外に思われるかもしれま

せんが、実は人間は、「単発  
的な大きなストレス」よりも  
「持続的な小さなストレス」  
に對しての方が、弱いことが  
わかっています。今回の地震  
の場合でいえば、小規模な余  
震であるとか、震災以前より  
仕事で忙しいとか、家の後片  
付けが終わらないとか、職場  
や地域での人間関係の問題で  
あるとか、**「持続的な小  
さなストレス」**にあたりま  
す。

そして、いわゆる**「うつ病」**  
のひとつの原因として、こ  
ういった**「持続的な小さなス  
トレス」**が重要視されています。  
「うつ病」というと、ただ  
単に気持ちが沈みこむだけの  
ものだと思われるかもしれま  
せんが、そうではありません。  
夜中や早朝に目が覚めてし  
まったり、食欲がなくなつた  
り、なんとなく体調がすぐれ  
なかつたりなど、むしろ身体  
的な不調が始まることが多い  
のです。「うつ病」には、有  
効で安全なお薬があるのです

が、患者さんご自身は受診す  
る気力すらないことも(ある  
いは身体的な不調としか思っ  
てない場合も)あり得ます。

震災後激務が続いているよ  
うな職場や、被害が特に大き  
かった地域などでは、「ここ  
ろの健康」について、可能な  
限りの配慮が必要です。

このようなことに少しでも  
思い当たることがあれば、  
「気の持ちようだから」など  
とは思わずに、ぜひ、医師や  
保健師などの専門職に相談し  
てください。

**うつ病は、必ず治ります。**  
どうか、かかりつけのお医  
さんや町保健師に早目にご相  
談ください。



●お問合せ けんこう支援課  
健康推進係(国保診療所内)  
☎68-4958

# 善意

新潟県中越大地震の復興に（義援金）

十二月十三日現在

二、〇三三万五五六円（四一六件）

## 戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

戸田葉菜	房一真	みのり団地	江口キミ	高橋寅雄	金子和男	大海正夫	大浜正丸	小林セツ	佐藤金作	星名リセ	相崎妙子	佐藤茂夫
74 (本人)	79 (勇作)	93 (本人)	93 (本人)	95 (英一)	63 (本人)	91 (本人)	65 (本人)	95 (本人)	74 (本人)	45 (ユキ)	45 (ユキ)	74 (本人)
中島町	発電所通り東	あかね園	あかね園	中屋敷	上町	元町	中仙田	中屋敷	中島町	沖立	沖立	中島町

星名洗矢	隆夫	高橋朝陽	恵美子	関口晴友	昌生	清美	みゆき	木島	星名洗矢	隆夫	高橋朝陽	恵美子
91 (本人)												
発電所通り西												

高砂—ご円満に

大平幸徳	原田	水落友子	十日町市	柄沢宏行	中央町	島田美紀	十日町市
91 (本人)							
原田	原田	十日町市	十日町市	中央町	中央町	十日町市	十日町市

(11月1日〜30日届け出順)



## かわにし俳壇

高崎正風選

地震避難みかん持つ子にいやされし  
 小春日の人情にふれ地震避難  
 新薬の香り清しく注連を絢う  
 来年の幸を心に注連を絢う  
 小白倉 江口みゆき  
 地震見舞褒めて帰りぬ帰り花

犬犬も鳥居も崩れ神の留守  
 鎮まらぬ余震よ神の留守なれば  
 余震など来たかと爺や秋うらら  
 上町 高橋 願似  
 宮様を祝へる国の帰り花  
 日々増す地震の重み時雨いし  
 激震の悲境に喘ぐ片時雨  
 霜条 星名 星光  
 金木犀道いっばいに散りにけり  
 紅葉の桜並木の続く道  
 被災者の眠るテントに冬迫る  
 志木市 山田十久二  
 八海の薄化粧見せ今朝の冬  
 宮掃除車座となり大焚火  
 木犀の匂ひ流るる夜の雨  
 新町新田 若山 向山  
 落葉焚く中に枯れ菊沈みけり  
 八海山どこからみても冬に入る  
 あちこちの手締め音や酉の市  
 練馬区 須藤 遊人  
 着ぶくれて老いの余震に耐えてをり  
 普段着で写真撮らる、七五三  
 大根煮に体温もる夕餉かな  
 野口 村越 由喜  
 連日の地震の片付け暮れ早し  
 荒縄で縛る困いの竿太し  
 山茶花に日の暮早き垣根かな  
 山野田 中條 石平  
 震災の思い心に落葉掻く  
 外灯の照らす足元秋深し  
 足立区 涌井ハル子  
 屋根の上音かさこそと落葉舞ふ  
 焼芋の売り声聞こゆ夜寒かな  
 田中町 石沢 澄代  
 冬耕の終りし田原眠りたる  
 冬告げる霰激しく屋根を打つ  
 野口 高橋 波京  
 震災の突貫工事暮れ早し  
 野沢漬都会へ送り喜ばれ  
 新町新田 若山 清子  
 よく出来て大根太りすぎにけり  
 いただきし新米こしひかりうまし  
 八王子市 松浦 サク  
 遠き嶺の雪の白さや漬菜取る  
 大地震避難一途に車中宿  
 高原田 須藤 キミ  
 かさこそと庭のどこかに秋の音  
 長年の稲架もすたれし時代かな  
 野口 村越 こう  
 余震なお続ける日々や秋深む  
 避難所の孫に添い寝の夜の寒き  
 岩瀬 登坂伊智子

## 休日救急医

12月23日	大熊内科医院 (十日町市山本町1) ☎ 52-7066
26日	大坪医院 (十日町市四日町新田) ☎ 57-6100
29日	山口医院 (十日町市袋町中) ☎ 52-2174
30日	川西町国保診療所 (川西町高原田) ☎ 68-2034
31日	庭野医院 (十日町市寿町4) ☎ 52-2711
1月1日	本町クリニック (十日町市本町3丁目) ☎ 50-1160
2日	田中外科医院 (十日町市田中町本通) ☎ 52-2403
3日	富田医院 (川西町発電所通西) ☎ 61-0200
9日	せき整形外科 (十日町市四日町第2) ☎ 50-1155
〃	津南病院 (津南町大割野) ☎ 65-3161
10日	小林内科医院 (十日町市中条中町) ☎ 52-7155

## ■表紙の写真

震災からの復興に向けて、様々な活動を実践している方々です。みなさん、本来の表情が戻ってきました。

## ???クイズです???

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出しています。

<川西町で一番標高が高いのは「〇〇山」?>

ヒント：全戸配布した町勢要覧(資料編)をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 12月28日(火)

< 11月号の答え >

### 「56 豪雪」

今回の正解者は次の方々でした。記念品をプレゼントします。(敬称略)

桑原要雄(新潟市)、中島利男(東京都)、竹口幸(上野)



「ちょうちよとわたしが空をとんだ」  
2年生 柳 紗知



「おむすびころりん」  
1年生 沢口 莉子



「みんなの広場」  
4年生 清水 綾



「ブナ林で遊んだよ」  
3年生 今藤里咲

（1月号は橘小学校です）



「アコーディオンをひいている私」  
5年生 小海亜美



「作業を一休み」  
6年生 蔵品 薫子

しかし、力こぶをいれて自分を奮い立たせていられる時間はそう長くはない。あんまり頑張りがすぎると、その分反動もある。ときには力を抜くことも大事だ。それも思いっきり弱音を吐いたり愚痴をこぼしながら…。幸い、それらを受け止めてくれる人や地域がここにはある。復興への道のりはずっと向こうまで続いている。急ぎすぎることはない。あったかいものを腹に入れて、確実に、そして少し早足で歩いていこう、がんばろう。④



がんばれ！川西、がんばろう！新潟：いろんなところで目にするようになった。こうしたことばに出会うと、ほっとしたり「よーし」という気持ちが変わってくる。